

津市立櫛形小学校給食受入施設改修工事

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
【建築工事】			【電気設備工事】			【機械設備工事】		
A-01	特記仕様書 1	-	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	-	M-01	機械設備工事特記仕様書 1	-
A-02	特記仕様書 2	-	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	-	M-02	機械設備工事特記仕様書 2	-
A-03	特記仕様書 3	-	E-03	電気設備工事特記仕様書 3	-	M-03	空調換気設備 1階平面図 (改修後)	S=1/100
A-04	特記仕様書 4	-	E-04	1階動力弱電設備平面図 (改修前・改修後)	S=1/100	M-04	給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修前・後)	S=1/50
A-05	特記仕様書 5	-	E-05	1階電灯コンセント設備平面図 (改修前・改修後)	S=1/100	M-05	給排水衛生設備 2、3階平面詳細図 (改修後)	S=1/50
A-06	付近見取図・配置図兼仮設計画図	S=1/800	E-06	1階弱電設備平面図 (改修後) 2階電灯設備平面図 (改修後)	S=1/100・1/400			
A-07	仕上表	-						
A-08	各階平面図 (改修前) 兼仮設計画図	S=1/200						
A-09	1階平面図 (改修前)、飼育小屋詳細図	S=1/50・200						
A-10	1階平面図 (改修後)	S=1/200						
A-11	1階平面詳細図 (改修前)	S=1/30・50						
A-12	1階平面詳細図 (改修後)	S=1/30・50						
A-13	展開図 (改修後)	S=1/50						
A-14	2、3階配膳室平面詳細図、展開図 (改修前・後)	S=1/50						
A-15	1、2階天井伏図 (改修前・後)	S=1/100						
A-16	キッチン・建具表 (改修前・後)	S=1/50						
A-17	雑詳細図	S=1/7・10・20 ・30・200						

原図：A 2

③ 防水改修工事 1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)～(表3.3.10) 2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2) (3.5.3) (表3.5.1)～(表3.5.3) (3.5.3) (3.5.4) 4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3) (a) (3.6.3) (b) 5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6) (c) (2) (3.2.6) (c) (6) ⑥ シーリング (3.7.2) (表3.7.1) (3.7.4～7) (3.7.8) 7 とい (3.8.2) (表3.8.1) 8 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (c) (表3.9.1) (3.9.3) (b) (3.9.2) (d) (3.9.3)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIB ・ PIE ・ P2E</td> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ E-1 ・ E-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()</p> <p>改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()</p> <p>ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()</p> <p>絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示() 断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ () ・ 図示 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ S3S ・ S3S1</td> <td>・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:)、材質()) ・ 設けない</p> <p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示(図面番号:) 増張り ・ 図示(図面番号:) 保護層の施工 ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ POX ・ L4X</td> <td>・ X-1 ・ X-2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号:)、材質()) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIY ・ P2Y</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない</p> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>① SR-1 ② SR-2 ③ MS-2 ④ PS-2 ⑤ PU-2</td> <td>シリコーン系 シリコーン系 変成シリコーン系 ポリサルファイド系 ポリウレタン系</td> <td>建具がら部 新設間仕切壁取合部・建具周り・7&8底</td> </tr> </table> <p>工法 ① シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 (ボンドブレード幅 mm、エッジング材幅 mm)</p> <p>シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ① 行わない</p> <p>材質 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管) ・ ()</p> <p>工法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>部材の種類 ・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形(本体幅()mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())</p> <p>固定金具の間隔(mm) 固定方法 ・ ()</p> <p>表面処理 ・ ()</p> <p>工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示(図面番号:) 下地補修の工法 ・ 図示(図面番号:) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示(図面番号:) 笠木固定金具の工法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。</p>	工法	種別	施工箇所	・ PIB ・ PIE ・ P2E	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ E-1 ・ E-2		工法	種別	種別	仕上塗料	・ S3S ・ S3S1	・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)			工法	種別	施工箇所	仕上塗料	・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2			工法	種別	施工箇所	・ PIY ・ P2Y	・ Y-2		種類	材種	施工箇所	① SR-1 ② SR-2 ③ MS-2 ④ PS-2 ⑤ PU-2	シリコーン系 シリコーン系 変成シリコーン系 ポリサルファイド系 ポリウレタン系	建具がら部 新設間仕切壁取合部・建具周り・7&8底	4 外壁改修工事 1 施工数量調査 ・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 ・ () 調査項目 ・ ひび割れ部(・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等(・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)	2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5) <table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンリート打放し仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>・ 塗り仕上げ外壁</td> <td>新規仕上げ</td> <td>・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り</td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り	9 鋼製建具 (5.4.2) <p>鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()</p> <p>(5.4.3) (5.4.4) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3) (a) (5.2.3) (a)</p> <p>鋼製軽量建具の性能等級 ① 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>表面仕上げ ・ 塗装 ② ビニル被覆鋼板 ③ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板(・ HL ・ 鏡面)</p> <p>11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2) (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)</p> <p>ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級)</p> <p>材料 ・ SUS304 ・ ()</p> <p>表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()</p> <p>曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ</p> <p>⑪ 建具用金物 (5.7.2) (5.7.4)</p> <p>金物の見え掛かり部等の材質等 ① 改修標準仕様書(表5.7.1)による ② 図示(図面番号:A-16)</p> <p>マスターキー ・ 製作する ③ 製作しない ※但し既存マスターキーに適合すること 引渡用鍵箱 ・ 必要 ④ 不要</p> <p>13 自動ドア開閉装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3) (f)</p> <p>開閉装置の性能値 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>センサーの種類 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>凍結防止措置 ・ あり ・ なし</p> <p>⑫ 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)</p> <p>自閉式上吊り引戸装置の性能値 ① 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()</p> <p>15 重量シャッター (5.10.2) (5.10.2) (c) (表5.10.1) (5.10.2) (f) (5.10.3)</p> <p>種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター</p> <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>開閉機能 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式</p> <p>一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()</p> <p>16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.4)</p> <p>開閉形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式</p> <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>スラットの材質及び形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ A290 ・ ()</p> <p>17 オーバーヘッドドア (5.12.2) (5.12.3)</p> <p>型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</p> <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</p> <p>収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</p> <p>ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板</p>	⑤ ① 改修工法 (5.1.3) ① かぶせ工法 ② カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法 2 防火戸 (5.1.4) ・ 例示仕様 ・ 個別認定(認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示(図面番号:) 3 見本の製作 (5.1.5) ・ 製作する ・ 製作しない 4 防犯建物部品 (5.1.7) ・ 図示(図面番号:) 5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (c) ・ 再使用する ・ 再使用しない ⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2) (5.3.2)～(5.3.5) (表5.3.1)～(表5.3.3) 性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示(図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ① 外部に面する建具 ・ B-1 ② B-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ C-1 ・ C-2 ・ () 7 網戸 (5.2.3) (e) ・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ 8 樹脂製建具 (5.3.2)～(5.3.5) (表5.3.1)～(表5.3.3) 性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込寸法 ・ 図示(図面番号:) 水切り ・ 図示(図面番号:)	原因: A 2
	工法	種別	施工箇所																																																										
	・ PIB ・ PIE ・ P2E	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ E-1 ・ E-2																																																											
	工法	種別	種別	仕上塗料																																																									
	・ S3S ・ S3S1	・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)																																																											
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料																																																									
	・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2																																																											
	工法	種別	施工箇所																																																										
	・ PIY ・ P2Y	・ Y-2																																																											
	種類	材種	施工箇所																																																										
① SR-1 ② SR-2 ③ MS-2 ④ PS-2 ⑤ PU-2	シリコーン系 シリコーン系 変成シリコーン系 ポリサルファイド系 ポリウレタン系	建具がら部 新設間仕切壁取合部・建具周り・7&8底																																																											
外壁	種類	改修工法																																																											
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																											
	欠損部	・ 充填工法																																																											
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																											
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																											
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																											
	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																																																											
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																																																											

⑥ 内装改修工事

1.4 モルタル塗り (6.15.3) 既製目地材 ・ 使用する (形状:)
床の目地 ・ 図示 (図面番号:)

1.5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3) 伸縮調整目地位置 ・ 図示 (図面番号:)

1.6 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3) ・ せっこう系 ・ セメント系 塗厚 () mm

1.7 断熱材 (9.5.2) 断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種

種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)

種類	厚さ [mm]	施工箇所
・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドレン回りの床板下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ A種 2	・ ()	
・ A種 3		・ ()

⑦ 塗装改修工事

① 材料 (7.1.3) (b) ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7) 既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR,B種の場合)
○ 図示

種別	下地	種別	ひび割れ部の補修
・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
○ 鉄鋼面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	
・ 垂鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
○ モルタル、プラスター面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	

③ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3) ~ (表7.3.4) 錆止め塗料種別
・ 垂鉛めっき鋼面
・ A種 ・ B種 ・ C種

錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種
垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

④ 合成樹脂調合ベイント塗り (SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1) ~ (表7.4.3) 塗料種別 ○ 1種 ・ ()

種別	下地	種別
・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種
○ 鉄鋼面		○ A種 ・ B種 ・ C種
・ 垂鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤラッカー塗り (CL) (7.5.2) (表7.5.1) 種別
木部 ・ A種 ・ B種

⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 種別
・ A種 ○ B種

7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2) ~ (7.8.4) (表7.8.1) ~ (表7.8.3) 上塗り等級
・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)

種別	下地	種別
鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

8 つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-6) (7.9.2) ~ (7.9.5) (表7.9.1) ~ (表7.9.4) 種別

種別	下地	種別
・ A種 ・ B種 ・ C種	コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ A種 ・ B種 ・ C種	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ A種 ・ B種 ・ C種	垂鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種

9 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1) 種別
・ A種 ・ B種 ・ C種
しみ止め ・ ()

1.0 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1) 種別
・ A種 ・ B種 ・ C種

1.1 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1) 種別
・ A種 ・ B種

1.2 ラッカーエナメル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1) 種別
・ A種 ・ B種

1.3 木造保護塗料塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1) 種別
・ A種 ・ B種

⑧ の 1 耐震改修工事 共通事項

(一般事項)
① 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)

工事内容
・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・ 鉄骨ブレースの設置工事
・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法)
・ 耐震スリット新設工事
・ 免震改修・制震改修工事

工事種別
○ 鉄筋工事
○ あと施工アンカー工事
○ コンクリート工事
・ 鉄骨工事
・ グラウト工事
・ 連続繊維補強工事
・ スリット新設工事
・ 免震改修・制震改修工事
・ 基礎工事

⑧ の 2 耐震改修工事 撤去工事

① 既存部分の撤去等 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)

撤去の範囲
○ 図示
・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・ ()

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置
本工事の範囲
○ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・ ()

撤去範囲 ・ 図示

既存構造体の撤去
撤去範囲 ○ 図示
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	○ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	

はつりだした鉄筋の処置
・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・ ()

はつりだした鉄骨の処置
・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。
・ ()

既存構造体コンクリート面の表面目荒らし
目荒らし程度
・ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す
・ 図示 (図面番号:)

(既存部分の処理)
3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)

⑧ の 3 耐震改修工事 鉄筋工事

① 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)

種別	径 (mm)
○ SD295A	D10
・ SD345	
・ SD390	
・ ()	

2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法及び鉄線の径
網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm)

3 加工 (8.3.2) 90°未満の折曲げの内法直径 ・ 図示 (図面番号:)

④ 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)

	径	部位
重ね継手	○ D16以下	
ガス圧接	・ D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・ 改修標準仕様書 (8.3.4) (c) (1) による
・ 図示 (図面番号:)

継手位置
・ 各部配筋参考図による
・ 図示 (図面番号:)

先組み工法等
・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ
○ 改修標準仕様書 (表8.3.4) による
・ 図示 (図面番号:)

帯筋組立の形
・ 図示 (図面番号:)

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) 軽量コンクリートで土に接する部分
・ 無し
・ 有り 適用箇所 ()
最小かぶり厚さ () mm

耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等)
・ 無し
・ 有り 適用箇所 ()
最小かぶり厚さ () mm

⑥ 各部配筋 (A-12) ○ 図示 (A-12)

7 ガス圧接 (8.3.8) 圧接完了後の試験
超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼	・ R235	・ 6Φ ・ 9Φ	スパイラルの径 (mm) ()	・ 図示 (図面番号:)
	・ ()	・ ()	・ ()	スパイラルのピッチ (mm) ()	
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼 (異形鉄筋)	・ 295A	・ 10	壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	

8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) ・ はしご筋
・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼 (異形鉄筋)
・ ()

9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) ・ 機械式継手
種類 ()
工法 ()
修正方法 ()
品質の確認方法 ()
鉄筋相互のあき () mm

・ 溶接継手
種類 ()
工法 ()
修正方法 ()
品質の確認方法 ()
鉄筋相互のあき () mm

⑧ の 4 耐震改修工事 コンクリート工事

(コンクリート工事一般事項)
① コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)

コンクリートの種別
○ I類 ・ II類

普通コンクリートの設計基準強度
設計基準強度F_c [N/mm²] 適用範囲 気乾単位容積質量 スラップ

○ 21	土間	2.3t/m ³ 程度	18	
・ ()			18	

(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)

軽量コンクリートの設計基準強度
設計基準強度F_c [N/mm²] 種別 適用範囲 気乾単位容積質量 所要気乾単位容積質量 スラップ

・ 36	・ 1類 ・ 2類				
・ ()					

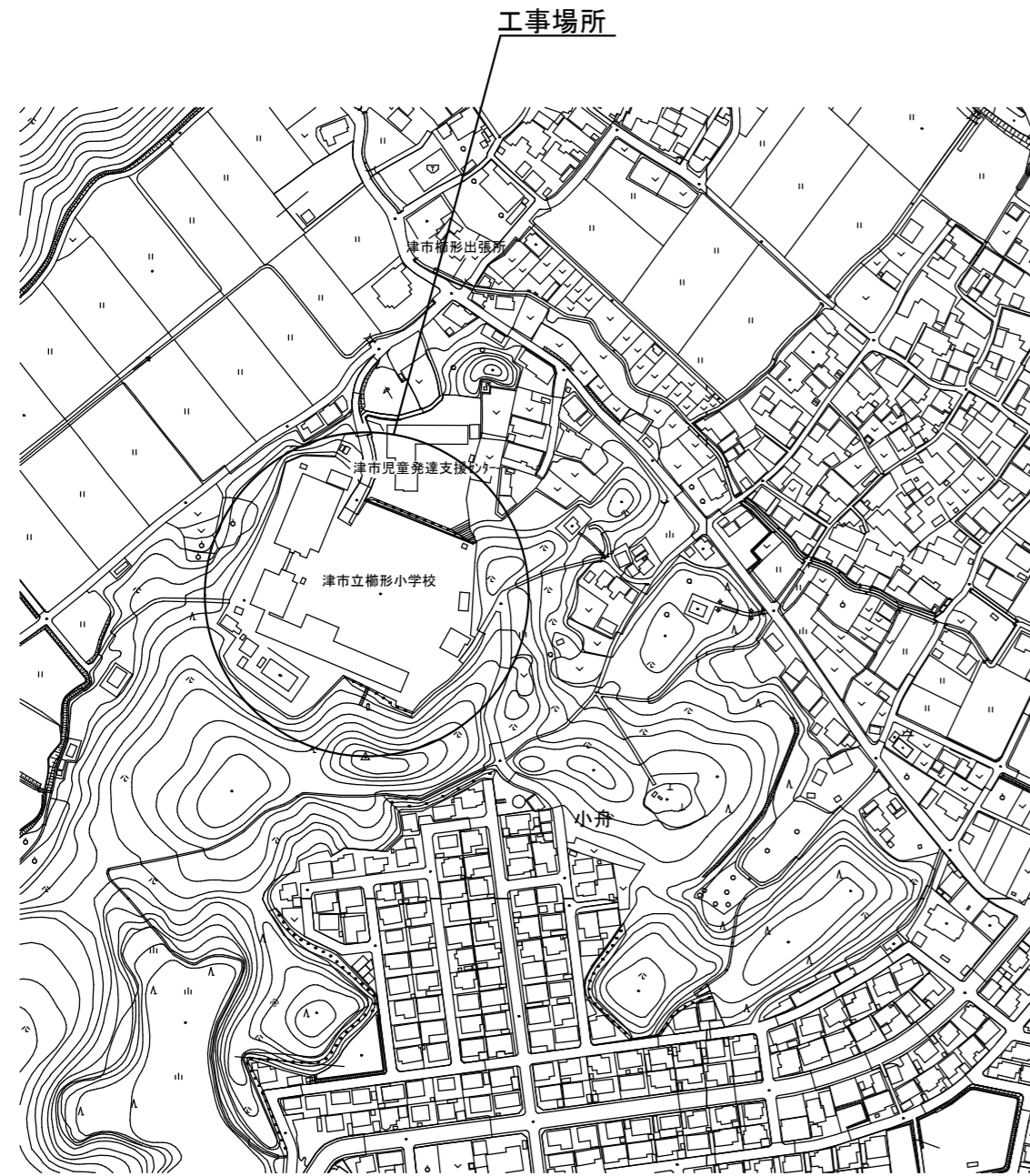
合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・ A種 ○ B種 ・ C種

セメントの種類
○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・ ()
・ 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
適用箇所 ()

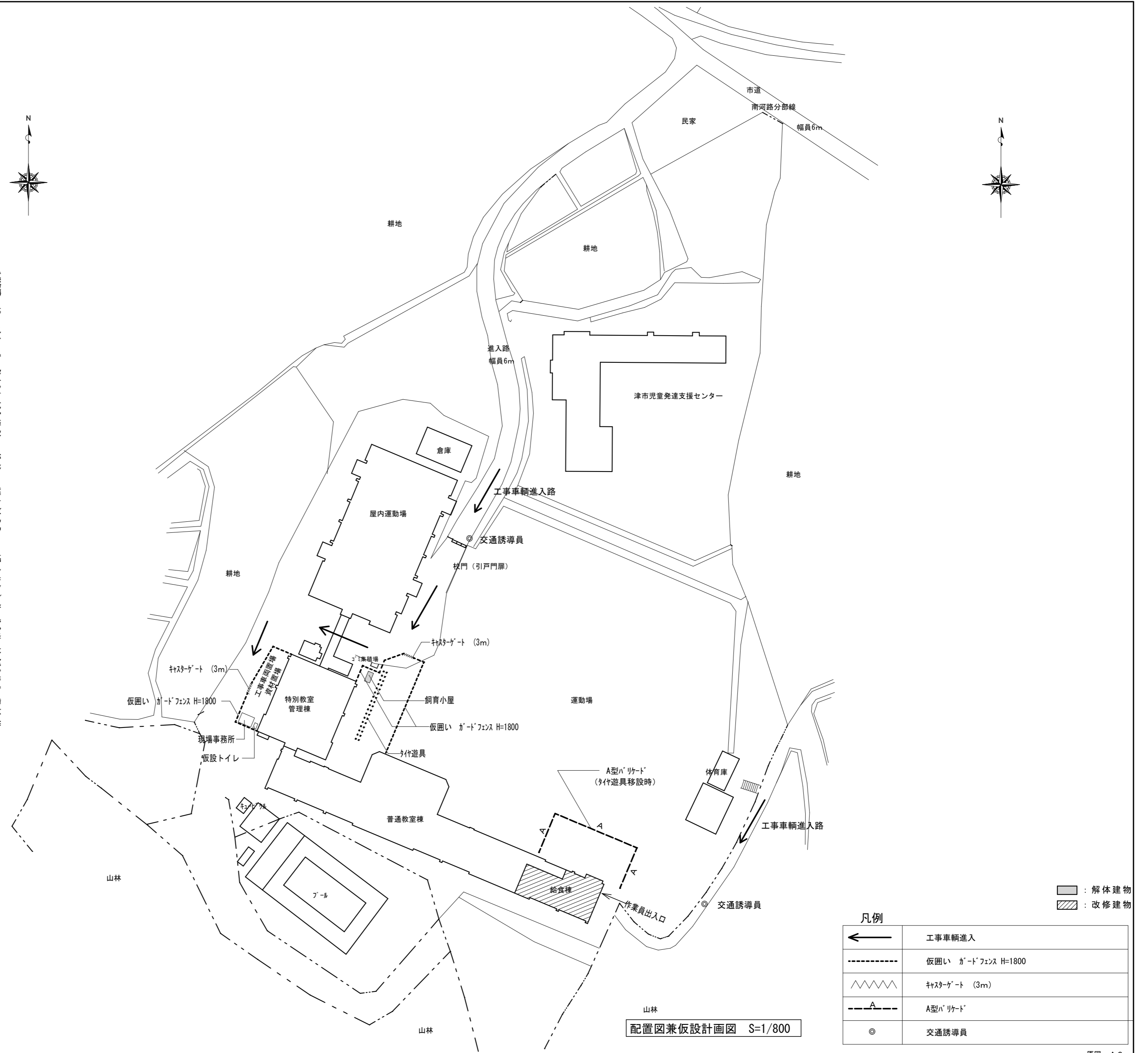
(コンクリート)
③ コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3)

<p>⑧の4 耐震改修工事 コンクリート工事</p> <p>④ 混和材料 (8.2.5)</p> <p>5 調管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)</p> <p>⑥ 型枠 (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>7 層中コンクリート (8.10.2)</p> <p>8 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>9 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)</p> <p>(8.23.6)</p> <p>10 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)</p>	<p>骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ○ A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H</p> <p>○ 混和剤 混和剤の種類 ○ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による ・ 図示(図面番号:)</p> <p>・ 混和材 混和材の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による ・ 図示(図面番号:)</p> <p>構造体強度補正值(S) ・ 3N/mm² ・ 6N/mm² ・ 改修標準(仕様書表8.2.4)による</p> <p>材料 ○ 複合合板(厚さ○12mm ・ ()) スリーブ ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(i)による ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ii)による ・ 材種() 規格()</p> <p>構造体強度補正值(S) ・ 6N/mm² ・ ()</p> <p>構造体強度補正值(S) ・ 18N/mm² ・ () スランプ ・ 15cm ・ 18cm ・ ()</p> <p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8.23.6)</p> <p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む ・ ()</p> <p>柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ 60mm ・ ()</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()	<p>⑧の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事</p> <p>(あと施工アンカー)</p> <p>① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)</p> <p>種類 ○ 金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式 (○ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>○ 接着系 カプセル型回転 ○ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号:)</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>穿孔 埋込み配管等の探索の方法 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ()</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ○ 実施しない 確認試験方法 ・ 改修標準仕様書(8.11.5)による ・ ()</p> <p>確認強度 ・ ()</p> <p>場所打ちコンクリート壁の新設工事)</p> <p>種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ () 彫込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()</p> <p>② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)</p> <p>(場所打ちコンクリート壁の新設工事)</p> <p>3 シアコネクタ</p>	<p>8の6 耐震改修工事 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 (8.1.5) 欄日本鉄骨評価センター又は両全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S</p> <p>2 施工管理技術者 (8.1.5) 施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の適用 ・ しない ・ する</p> <p>3 鋼材 (8.2.8) 材質・形状及び寸法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7) 高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト 2種(S10T) ・ JIS形高力ボルト2種(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)</p>	<p>8の7 耐震改修工事 グラウト工事</p> <p>(グラウト工事)</p> <p>1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (表8.2.5) (表8.2.10) 構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.11)による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書(8.2.11)(a)による ・ () グラウト材 ・ 改修標準仕様書(8.2.11)(b)による。</p> <p>増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 増設壁の上部</td> <td>・ グラウト材を注入 ・ ()</td> <td>・ 寸法は図示による ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)</p> <p>2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)</p>	部位	処理方法	備考	・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・ ()	・ 寸法は図示による ・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	<p>8の8 耐震改修工事 柱補強工事</p> <p>(連続繊維補強工事)</p> <p>1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1) 連続繊維による補強、補修工法 ・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()</p> <p>2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.23.6) 連続繊維の材料 ・ () 工法 ・ () 引張強度(含浸硬化後) ・ () ヤング係数(含浸硬化後) ・ ()</p> <p>3 連続繊維シートの施工準備 仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ ()</p>	<p>8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事</p> <p>(耐震スリット新設工事)</p> <p>1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)</p> <p>付着強度試験 ・ 実施する (JIS A6909に準拠する) 試験数量() ・ 実施しない</p> <p>耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 切断してよい ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>部分スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地部の残存厚さt5(mm)</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		一般型	一面せん断型		記号				形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()		既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()			片側スリット	両面スリット		記号				形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()		目地部の残存厚さt5(mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい ・ ()		<p>8の10 その他工事</p> <p>1 基礎工事 (8.28.2) (8.28.3) 既存杭の撤去 ・ 図示(図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 ・ 自由処分 ・ 処分地指定 処分地() ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km 山留めの撤去 ・ 撤去 ・ 存置</p>	<p>9 環境配慮改修工事</p> <p>1 アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1) 施工調査 ・ アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ () 貸与資料 () 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トシモライト 分析方法 ・ JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・ JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()</p> <p>・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排気吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業後(シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間以降</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1 ・ ()</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 10 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 120 ・ ()</td> <td>・ 240 ・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	材料名	定性分析	定量分析		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・	測定2		調査対象外部の付近	計点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・	測定4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点	・	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計点	・	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	計点	・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点	・	測定8		調査対象外部の付近	計点		測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()	試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()
	補強工法	打設工法	部位																																																																																																																																																									
	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
		・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
		・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
		・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
		・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
		・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																									
	部位	処理方法	備考																																																																																																																																																									
・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・ ()	・ 寸法は図示による ・ ()																																																																																																																																																										
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																																										
	一般型	一面せん断型																																																																																																																																																										
記号																																																																																																																																																												
形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																										
幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																										
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()																																																																																																																																																										
	片側スリット	両面スリット																																																																																																																																																										
記号																																																																																																																																																												
形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																										
幅W(mm)	・ 図示(図面番号:) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()																																																																																																																																																										
目地部の残存厚さt5(mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()																																																																																																																																																										
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい ・ ()																																																																																																																																																										
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																										
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																										
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																										
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																										
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																																																																																																																										
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)																																																																																																																																																								
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																																																								
・	測定2		調査対象外部の付近	計点																																																																																																																																																								
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																																																								
・	測定4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計点																																																																																																																																																								
・	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計点																																																																																																																																																								
・	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																																																								
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点																																																																																																																																																								
・	測定8		調査対象外部の付近	計点																																																																																																																																																								
	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5																																																																																																																																																									
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																																																																																									
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()																																																																																																																																																									
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()																																																																																																																																																									

	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2026号 一級建築士 大臣登録 第327163号 萩原 正洋</p>	<p>訂正</p>	<p>特記</p>	<p>工事名称 津市立橿形小学校給食受入施設改修工事</p>	<p>図面内容 特記仕様書 5</p>	<p>図面番号 A-05</p>
	<p>縮尺</p>	<p>年月日</p>	<p>図内 区分</p>			



付近見取図



配置図兼仮設計画図 S=1/800

■ : 解体建物
 ▨ : 改修建物

凡例	
←	工事車両進入
-----	仮囲い ガードフェンス H=1800
~~~~~	キーストーン (3m)
-A-	A型バリアード
◎	交通誘導員

原図: A 2

□ 仕上表

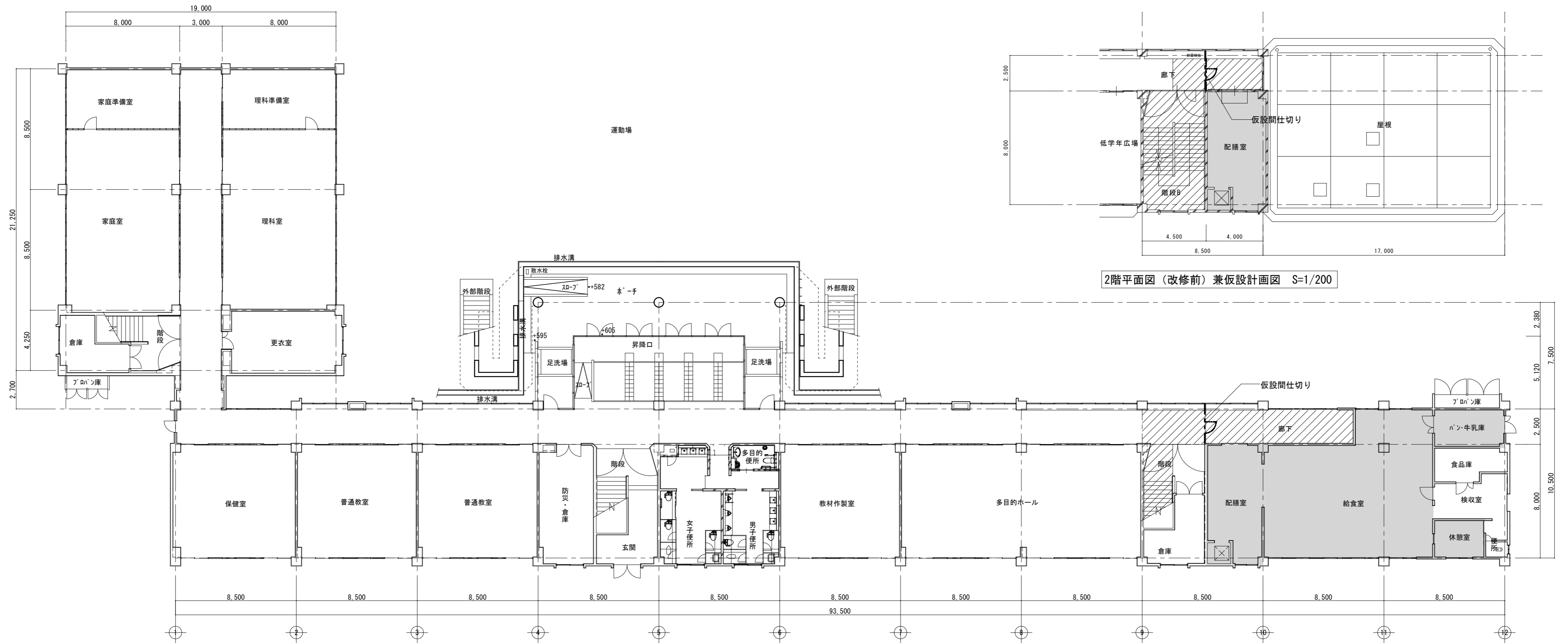
給食棟・外構

外部仕上表			
場所		仕上内容	備考
運動場	改修前	土（一部撤去） 一部排水溝蓋撤去	飼育小屋解体 バドミントン移設
	改修後	アスファルト舗装新設 コンクリート縁石150×150×600新設 細目グレーチング新設（L1800×溝幅300 隙間6mm） 土埋戻し	バドミントン新設：L=1950×D=1600 バドミントン移設

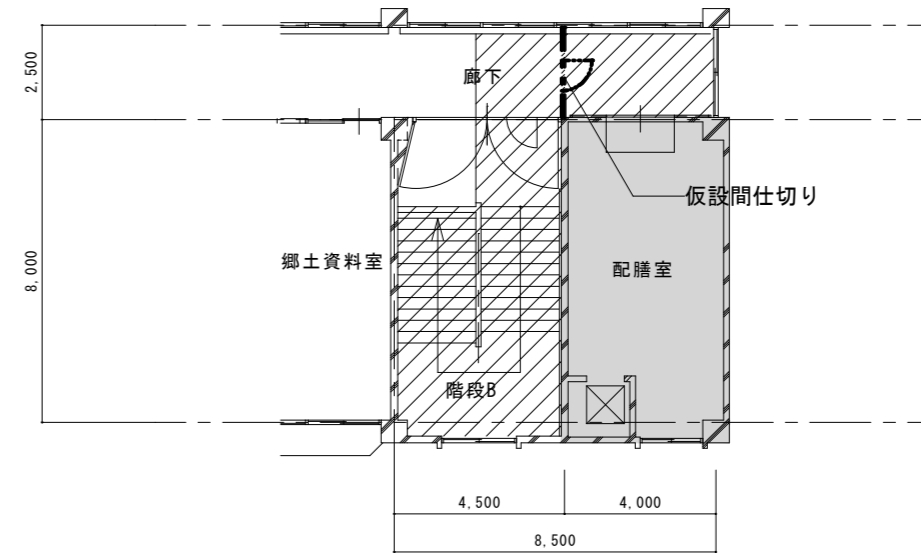
内部仕上表									
階	室名		床	巾木	壁	天井	天井高	備考	
1階	給食室	改修前	モルタル（一部撤去） 一部土間コンクリート溝ばつり グレーチング（撤去） 土間コンクリート=300（一部撤去）	モルタル VP塗（既設のまま）	100角タイル貼（既設のまま） モルタル（既設のまま）	けい酸加珪藻土板 VP塗（一部撤去） 下地LGS19共	2,850	引違いタイル（撤去）	
		改修後	フロー（新設） 土間コンクリート=220 直均し（新設） 土間コンクリート=300 直均し（新設）	ソト巾木H=300（新設）	間仕切壁新設：（下地LGS65）けい酸加珪藻土板t=8.0 素地のまま	けい酸加珪藻土板 NAD塗（新設）塩ビ廻縁共	2,850		
	配膳室	改修前	ビニル床タイル=2.5（新設） 下地モルタル共 土間コンクリート=220 直均し（新設） 土間コンクリート=300 直均し（新設）	ソト巾木H=300（新設）	間仕切壁新設：（下地LGS65）けい酸加珪藻土板t=6.0（二重張り）NAD塗	化粧PBt=9.5（新設）塩ビ廻縁、下地LGS19共	2,500	面台タイル=25×D120（新設） 洗面台（新設） 軽量鋼製建具（新設）	
		改修後	モルタル VP塗（既設のまま） モルタル（一部撤去） 土間コンクリート=300（一部撤去） 床モルタル補修（一部新設） 土間コンクリート=300 直均し（新設）	—	PS新設：（下地LGS65）PBt=12.5NAD塗	けい酸加珪藻土板 NAD塗（新設）塩ビ廻縁共	2,500	アスベスト撤去 C型鋼材撤去 タイル壁新設：（下地LGS90）、耐水合板t=12、化粧けい酸加珪藻土板t=6.0 小荷物専用昇降機（扉・枠） 下地調整の上SOP塗替	
	休憩室	改修前	畳4.5畳（撤去） 下地板（撤去） 床組（撤去） 縁甲板（撤去）	—	モルタル VP塗（既設のまま）	けい酸加珪藻土板 VP塗（既設のまま）	—		
		改修後	畳4.5畳（新設） 耐水合板t=12（新設） 転ばし床組（新設） 縁甲板t=15（新設）	—	—	—	—		
2階	配膳室	改修前	ビニル床タイル=2.0（一部撤去）	モルタル VP塗（既設のまま）	モルタル VP塗（既設のまま）	けい酸加珪藻土板 VP塗（一部撤去）	2,500		
		改修後	—	下地調整の上NAD塗替 ソト巾木H=100（新設）	下地調整の上NAD塗替 PS新設：（下地LGS65）PBt=12.5NAD塗	けい酸加珪藻土板 NAD塗（新設）塩ビ廻縁共	2,500	タイル壁新設：（下地LGS90）、耐水合板t=12、化粧けい酸加珪藻土板t=6.0 面台タイル=25×D120（新設） 洗面台（新設） 小荷物専用昇降機（扉・枠） 下地調整の上SOP塗替	
3階	配膳室	改修前	ビニル床タイル=2.0（一部撤去）	モルタル VP塗（既設のまま）	モルタル VP塗（既設のまま）	けい酸加珪藻土板 VP塗（既設のまま）	2,500		
		改修後	—	下地調整の上NAD塗替 ソト巾木H=100（新設）	下地調整の上NAD塗替 PS新設：（下地LGS65）PBt=12.5NAD塗	—	2,500	タイル壁新設：（下地LGS90）、耐水合板t=12、化粧けい酸加珪藻土板t=6.0 面台タイル=25×D120（新設） 洗面台（新設） 小荷物専用昇降機（扉・枠） 下地調整の上SOP塗替	
備考									

原図：A2

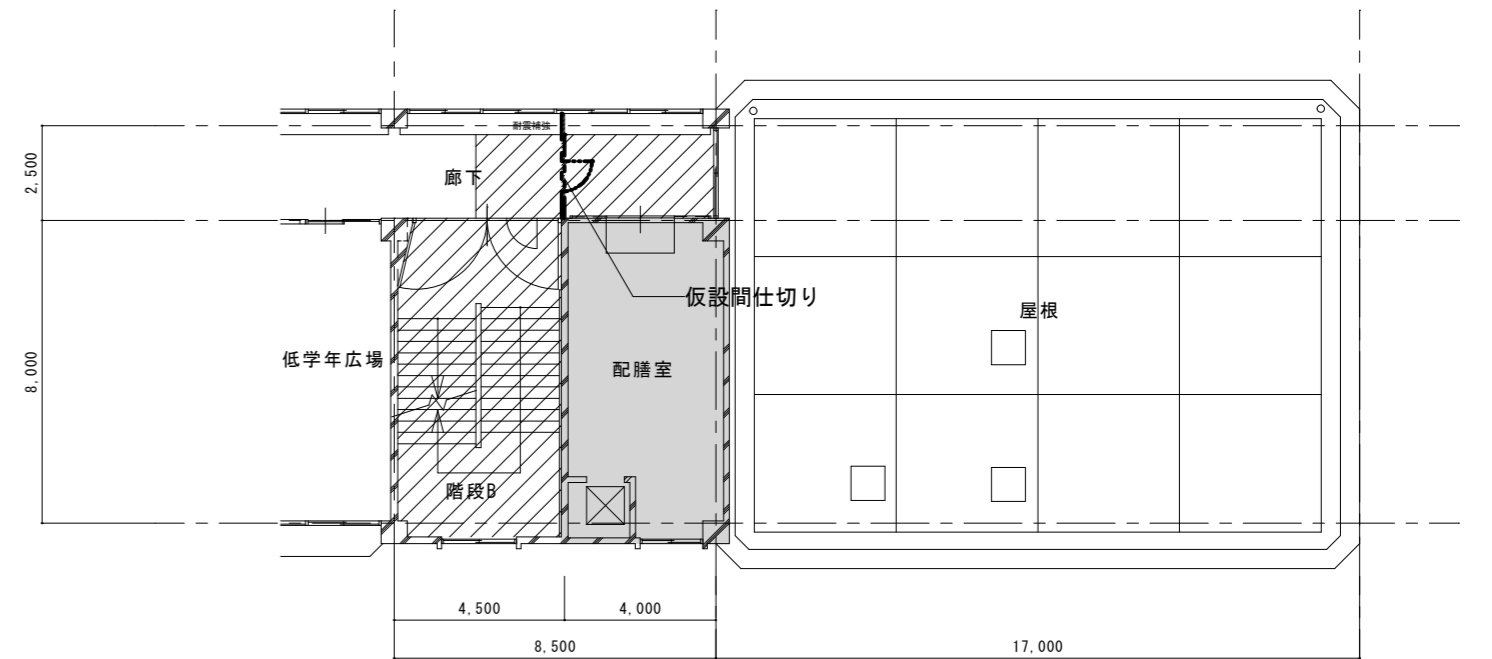




1階平面図 (改修前) 兼仮設計画図 S=1/200



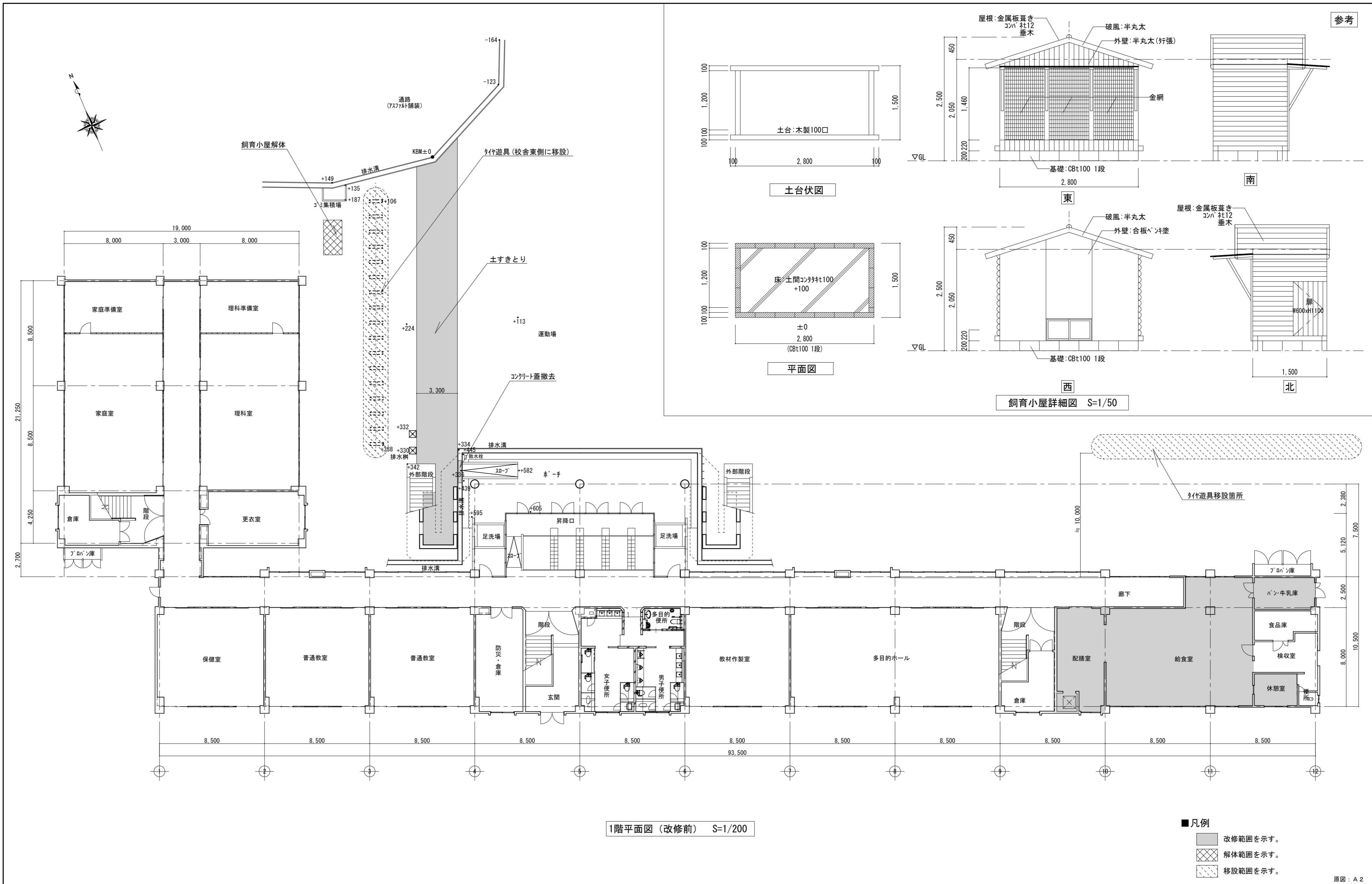
3階平面図 (改修前) 兼仮設計画図 S=1/200



2階平面図 (改修前) 兼仮設計画図 S=1/200

- 凡例
- 改修箇所を示す。
  - 内部床養生範囲を示す。(シート+ベニヤ)
  - 仮設間仕切りを示す (扉、南京錠共)

原図：A 2



1階平面図 (改修前) S=1/200

土台伏図

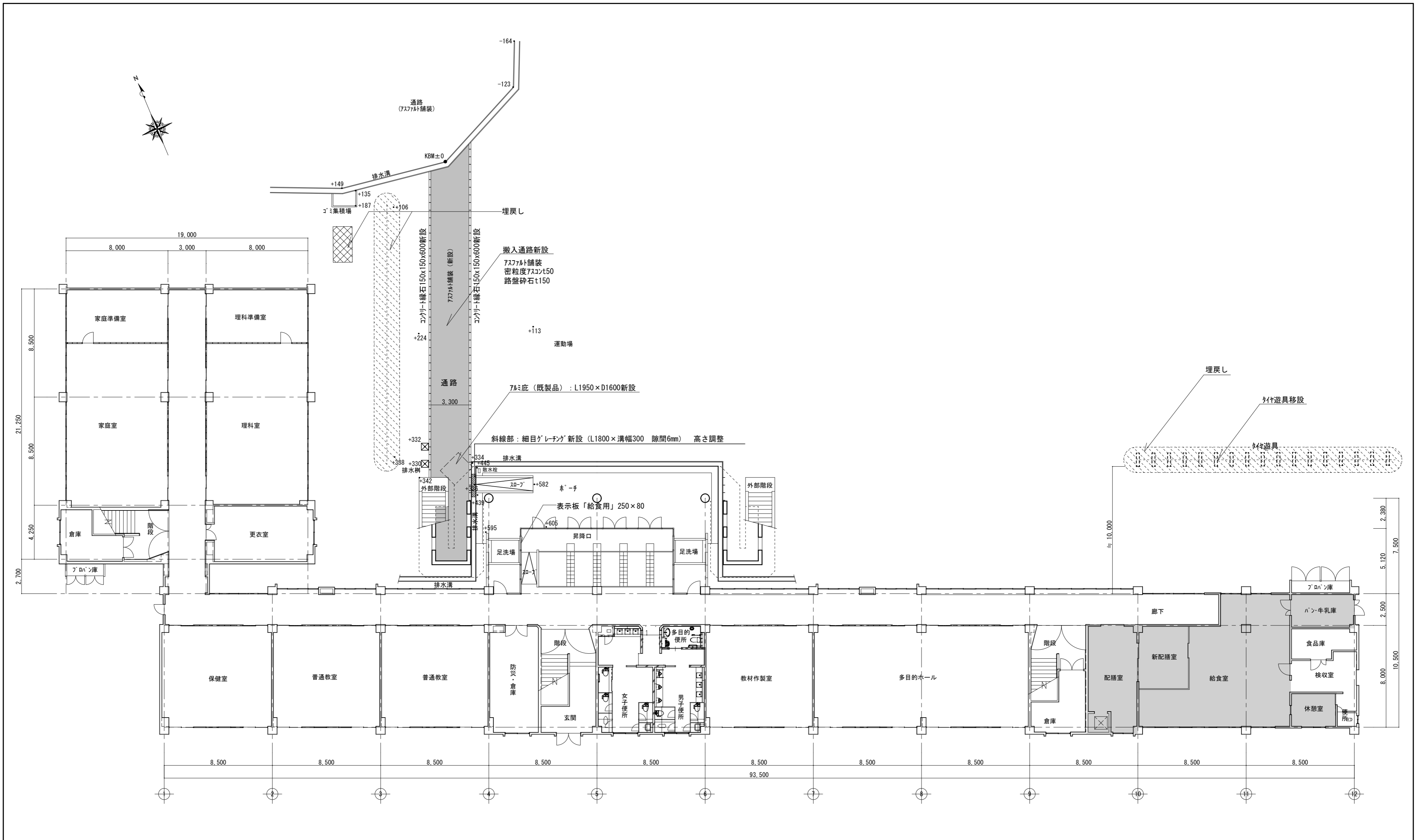
平面図

飼育小屋詳細図 S=1/50

凡例

- 改修範囲を示す。
- 解体範囲を示す。
- 移設範囲を示す。

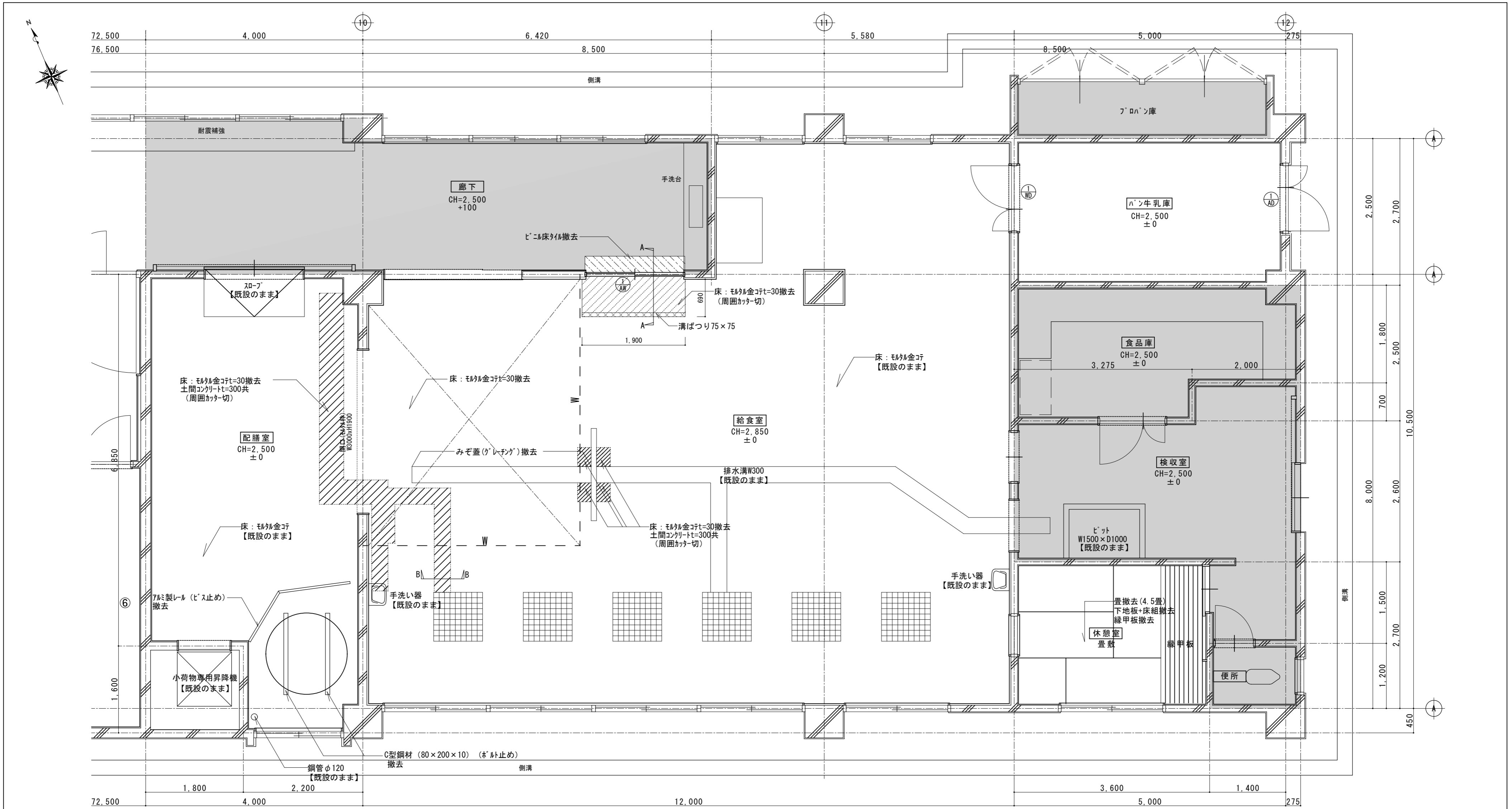
原図: A 2



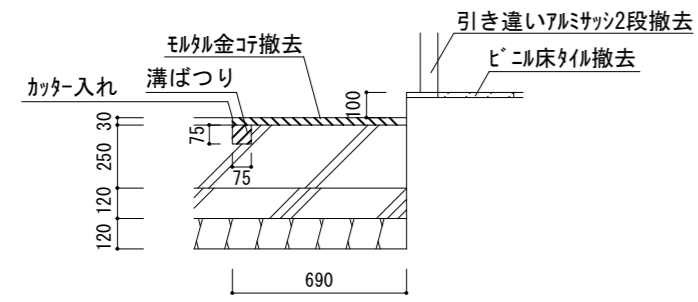
1階平面図（改修後） S=1/200

- 凡例
- 改修範囲を示す。
  - 解体範囲を示す。
  - 移設範囲を示す。

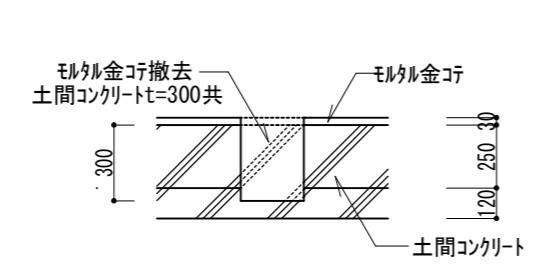
原図：A 2



1階平面詳細図 (改修前) S=1/50



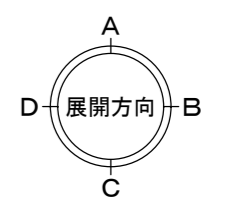
A-A断面図 S=1/30



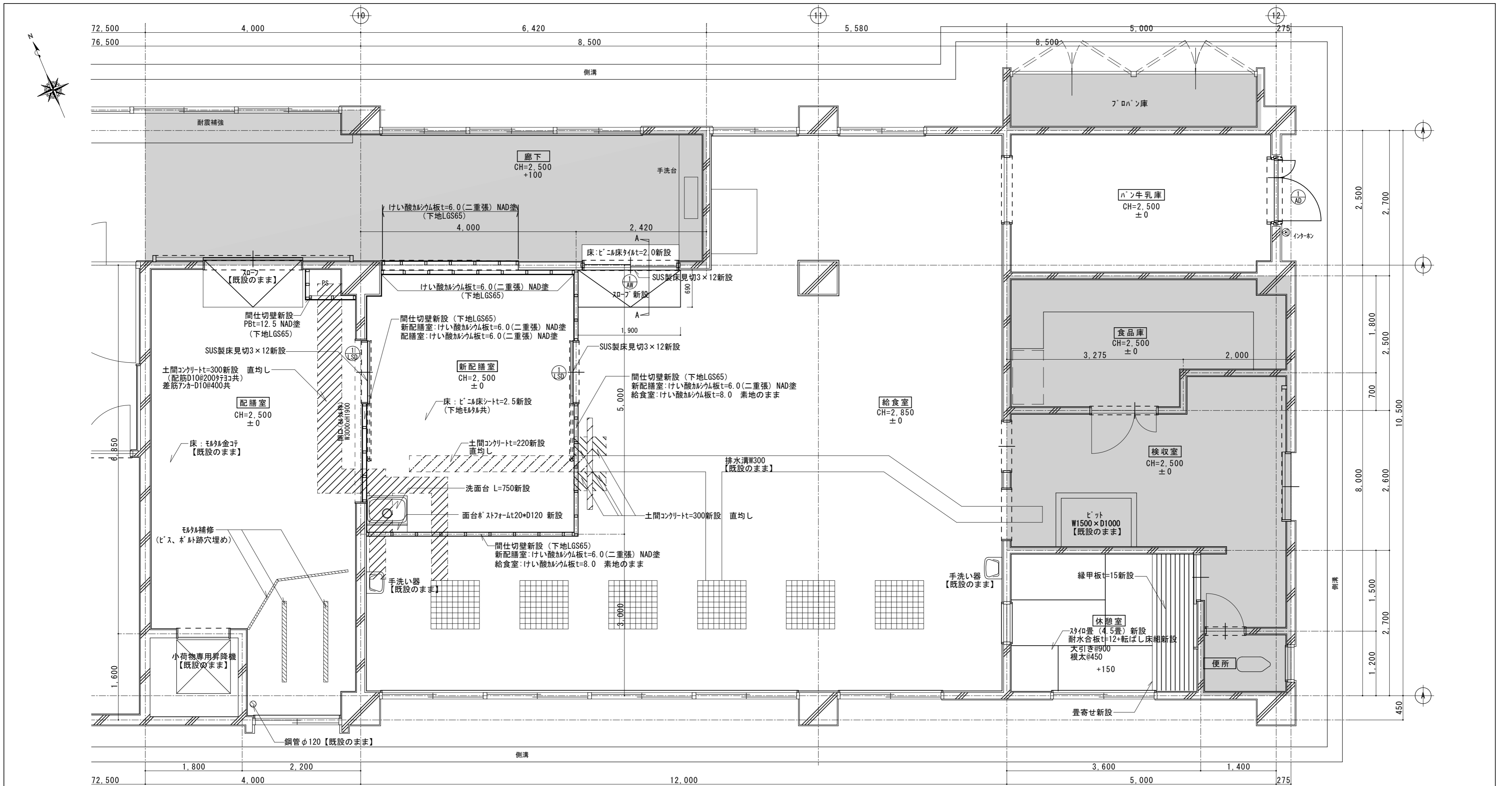
B-B断面図 S=1/30

- 凡例
- モルタルコテ=30撤去  
土間コンクリート=300共 (周囲カッター切)
  - モルタルコテ=30撤去  
(周囲カッター切)
  - 溝ばつり75×75
  - ビニル床タイル撤去

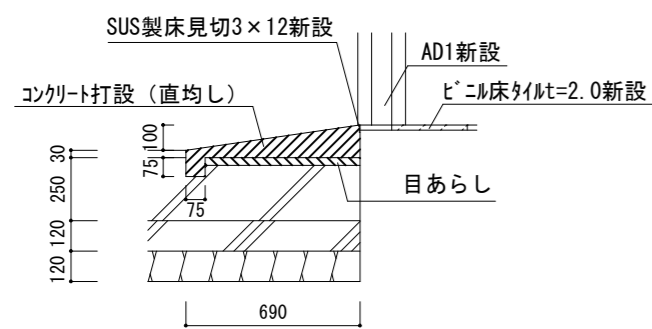
W 新設間仕切壁ライン



原図: A 2



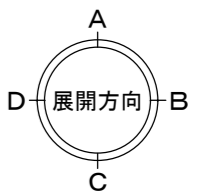
1階平面詳細図(改修後) S=1/50



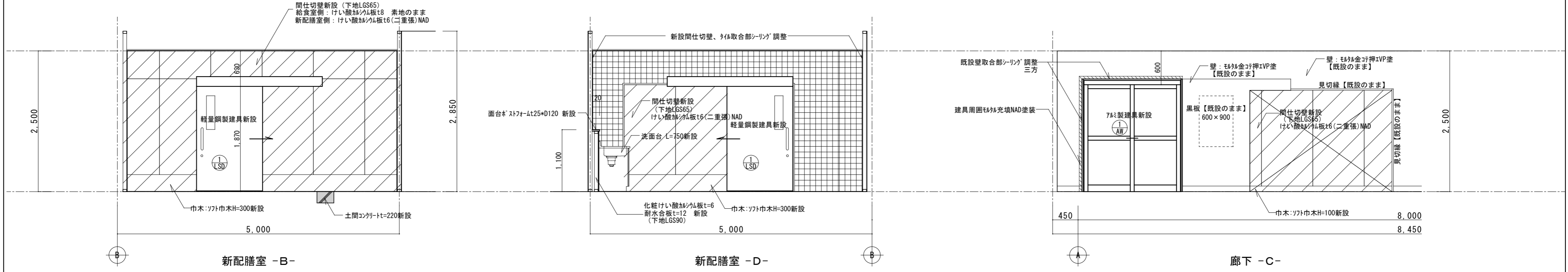
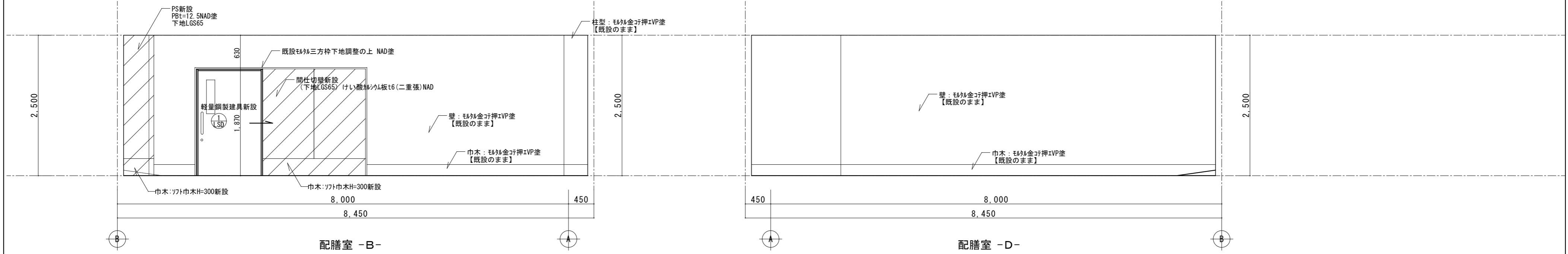
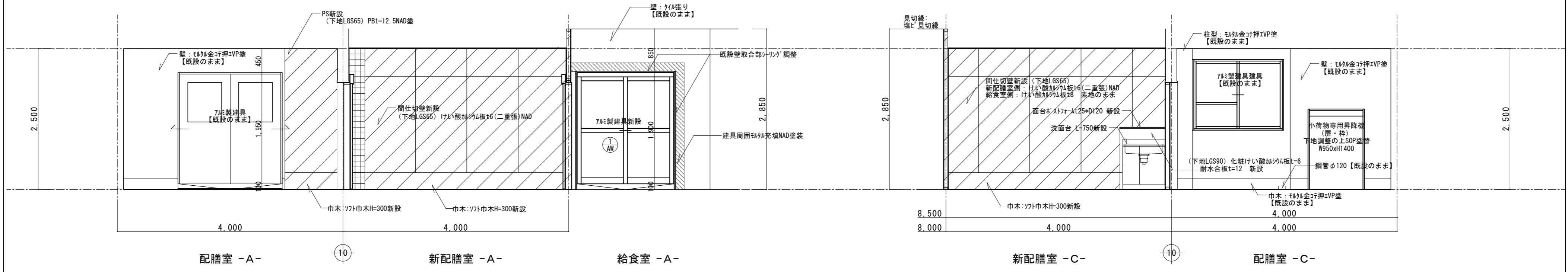
A-A断面図 S=1/30

■凡例

- 土間コンクリート=300新設 直均し (配筋D10@200行30共) 差筋7カ-D10@400共
- 土間コンクリート=300新設 直均し
- 土間コンクリート=220新設 直均し
- モルタル補修



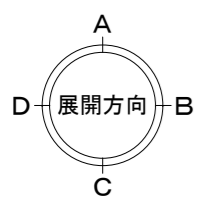
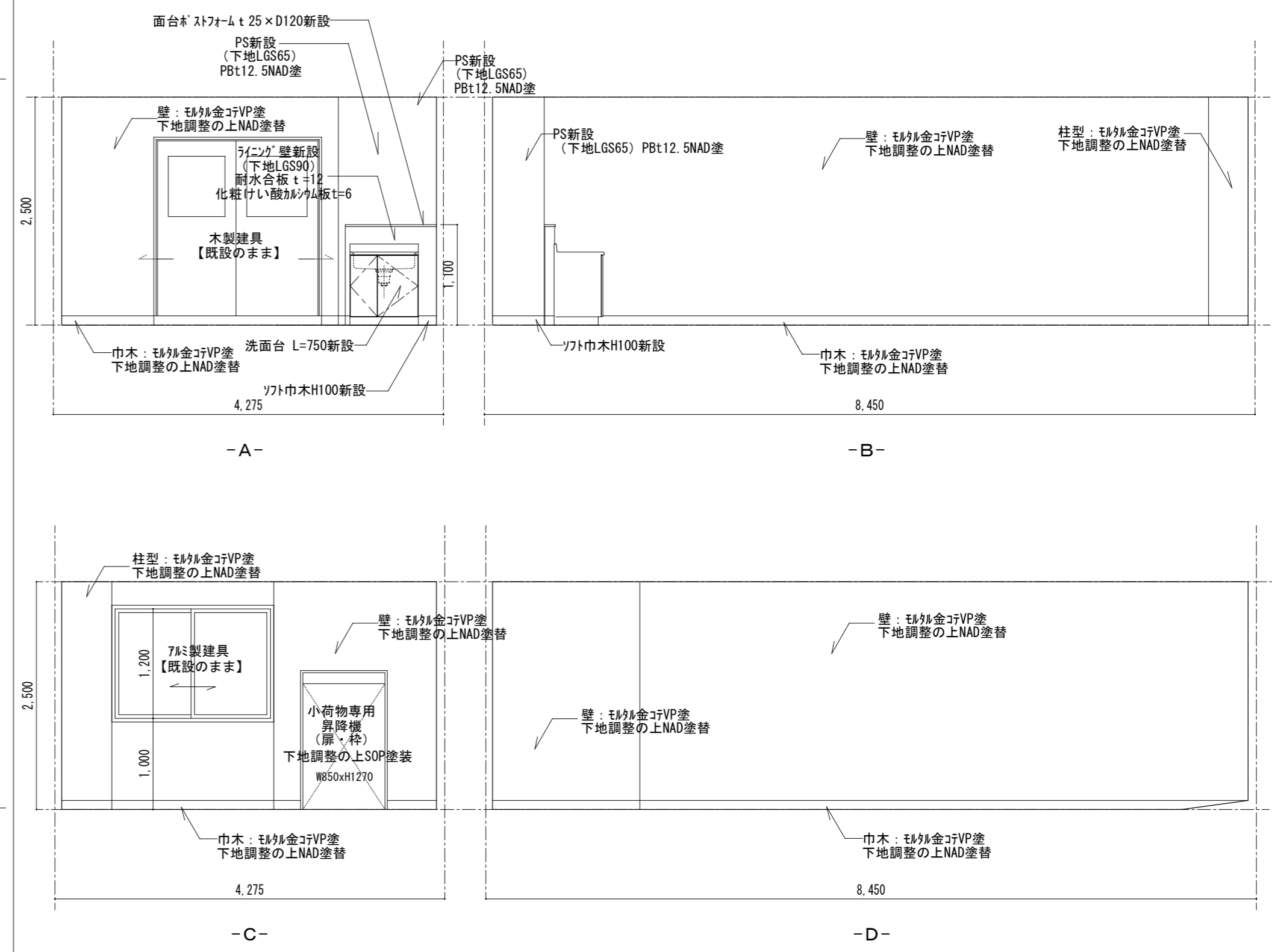
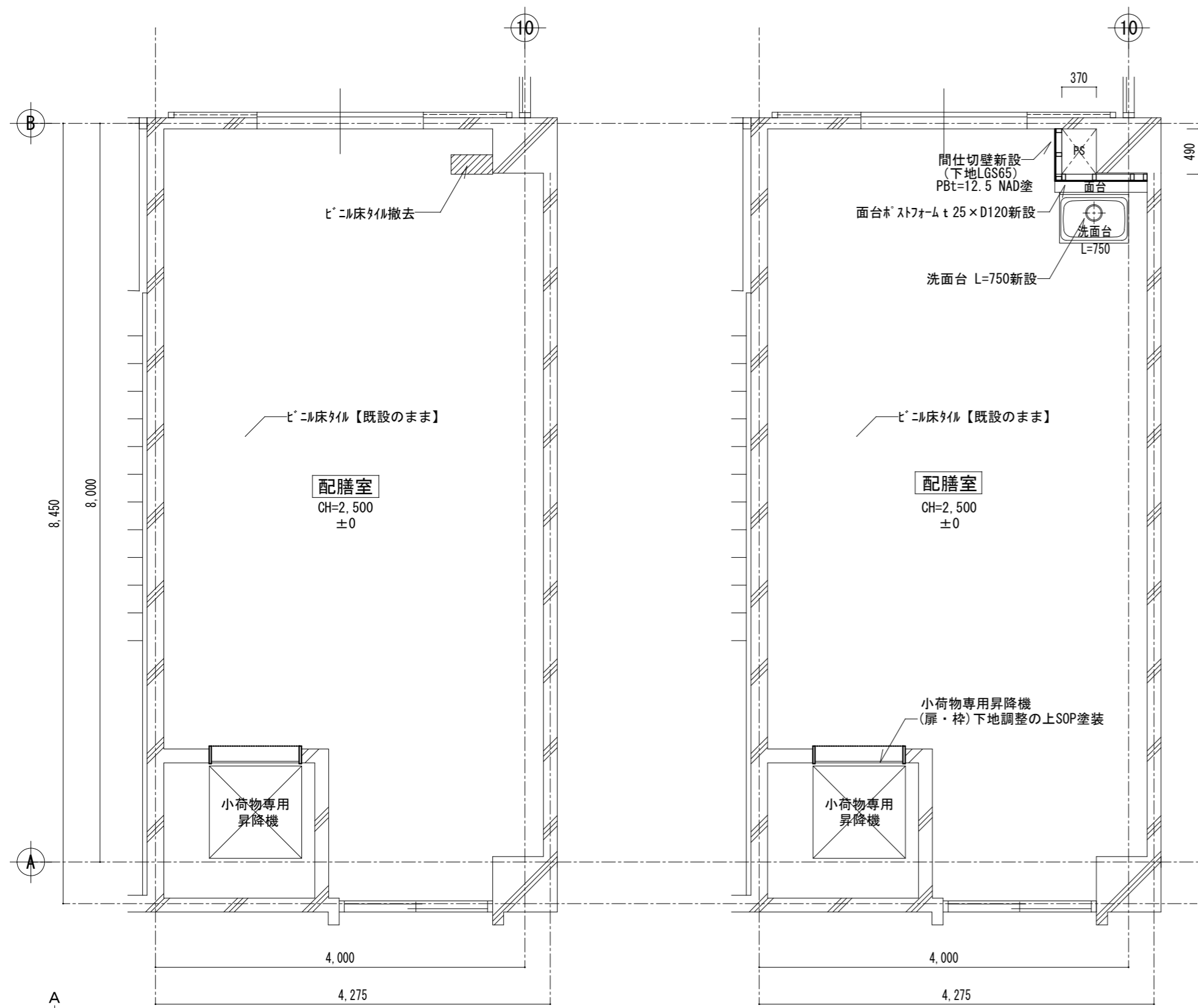
原図：A 2



■凡例

	新設壁		建具周囲珪砂充填NAD塗
	土間コンクリート=220新設		

原図: A 2

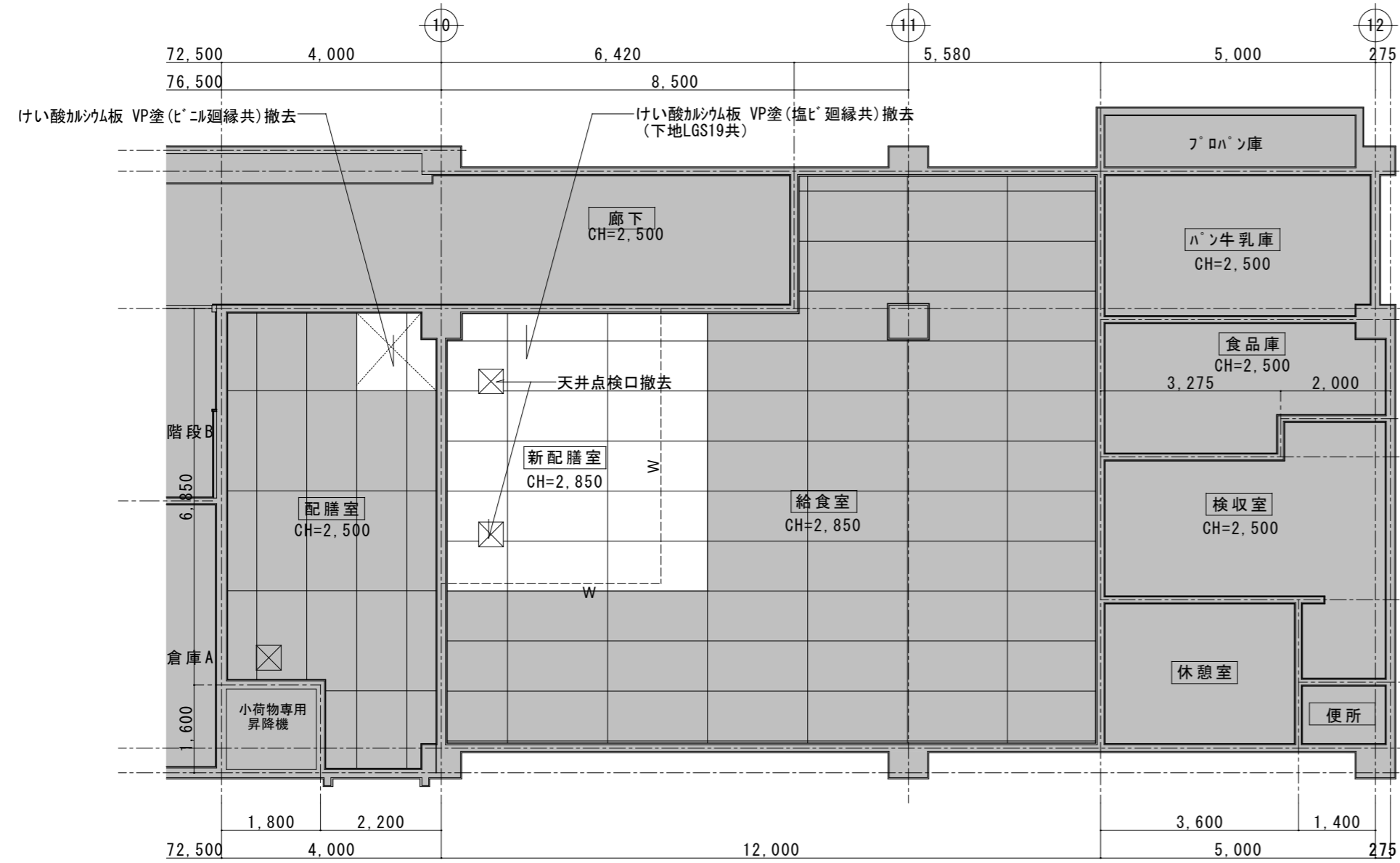


2、3階配膳室平面詳細図 (改修前) S=1/50

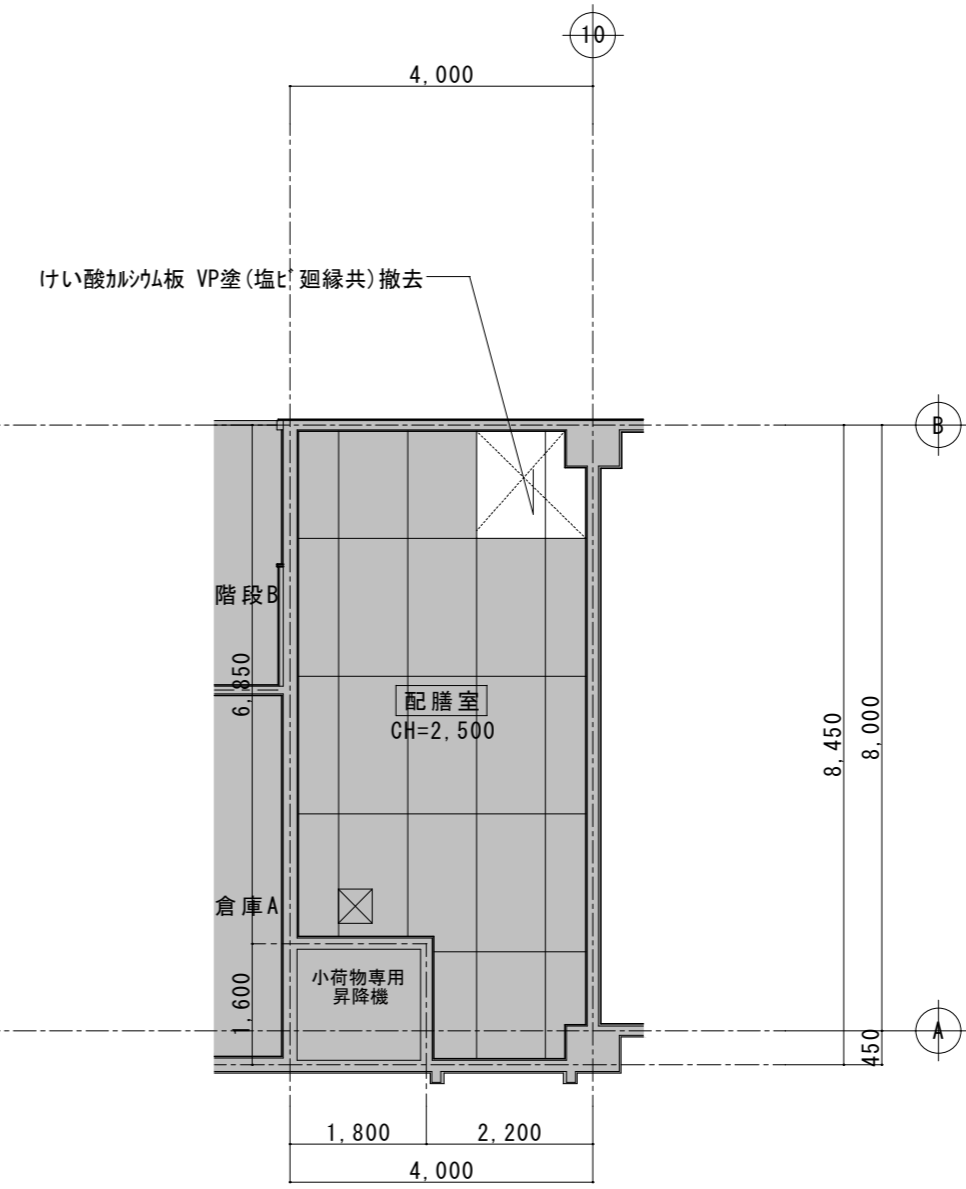
2、3階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50

2、3階配膳室展開図 (改修後) S=1/50

原図：A 2

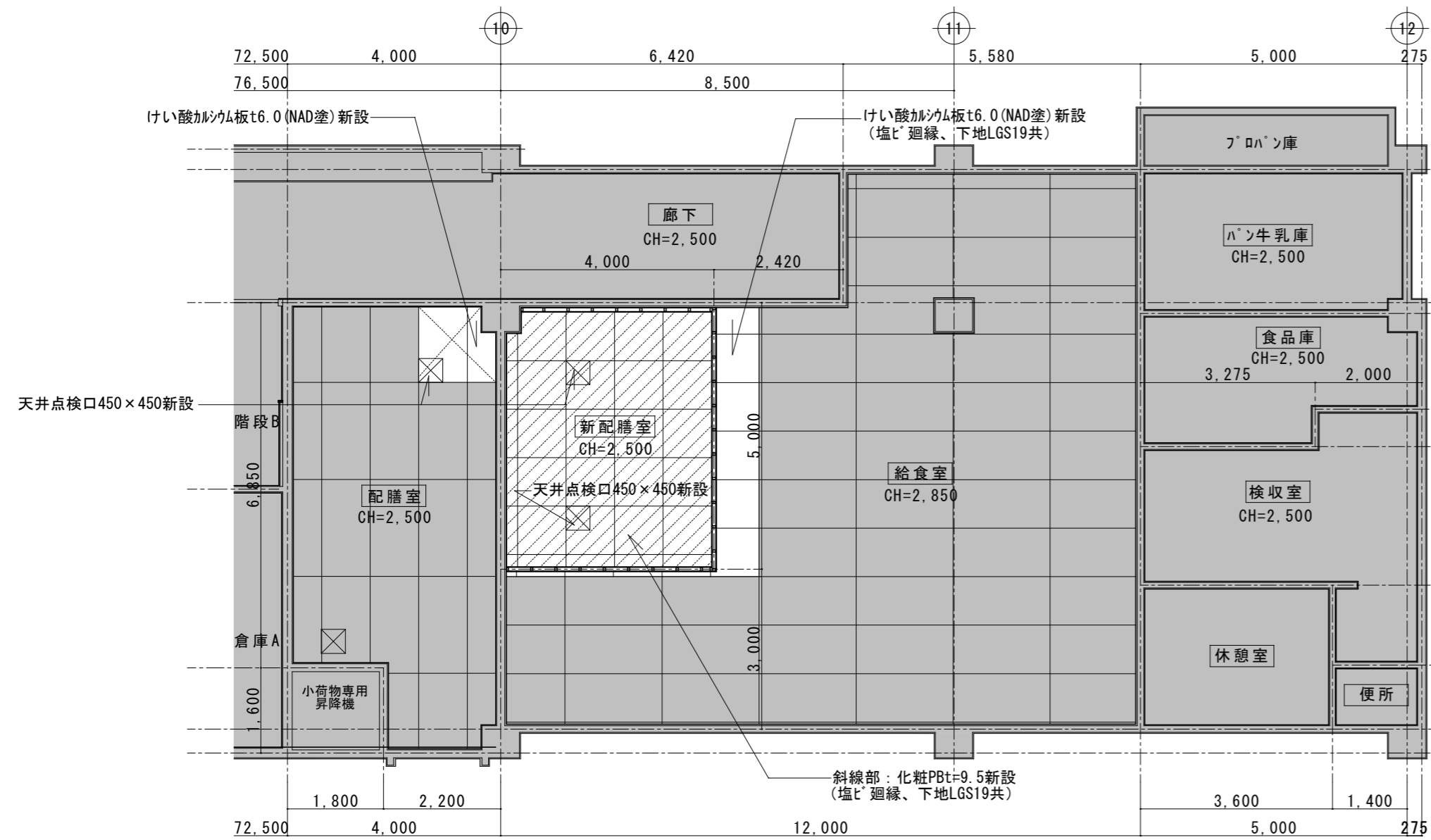


1階天井伏図 (改修前) S=1/100

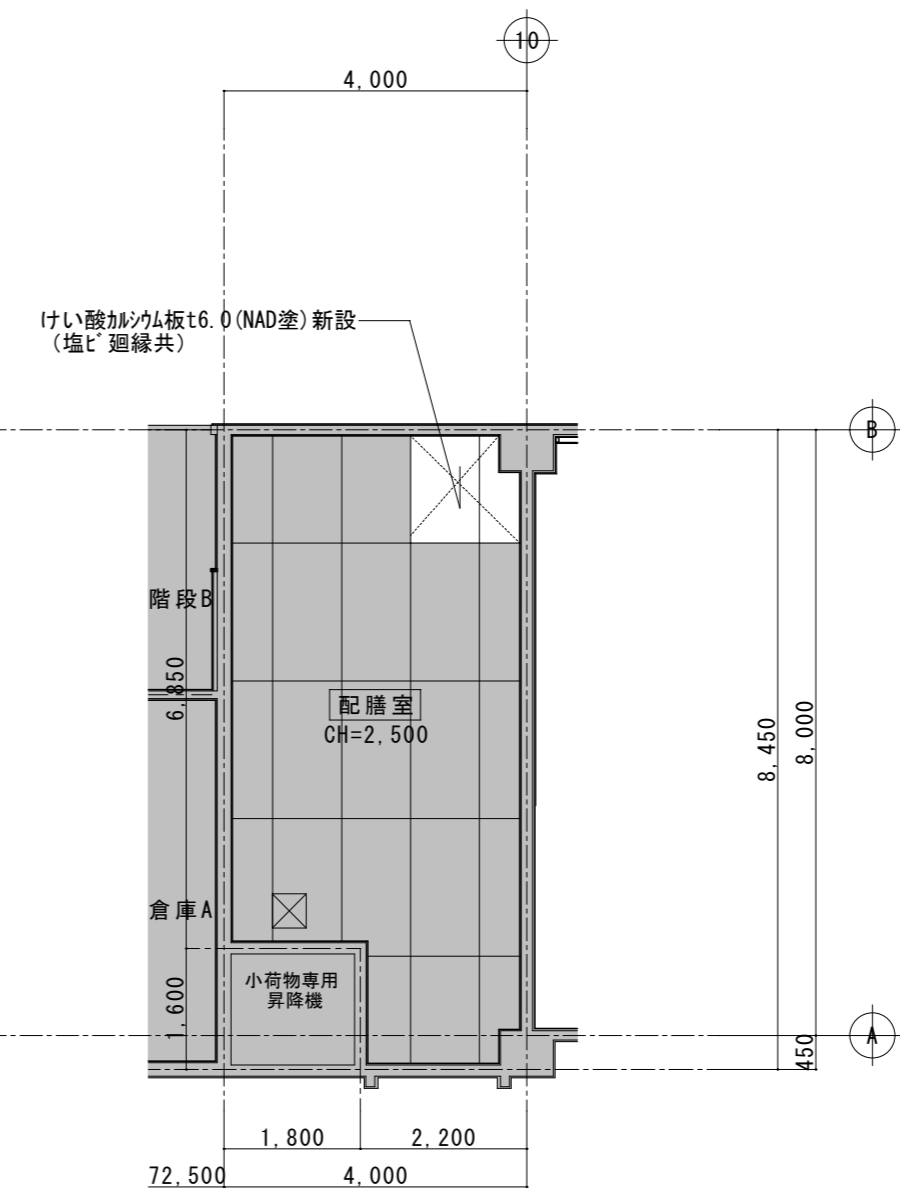


2階天井伏図 (改修前) S=1/100

■凡例  
 工事範囲外  
 W 新設間仕切壁5/4  
 ⊠ 天井点検口



1階天井伏図 (改修後) S=1/100



2階天井伏図 (改修前) S=1/100

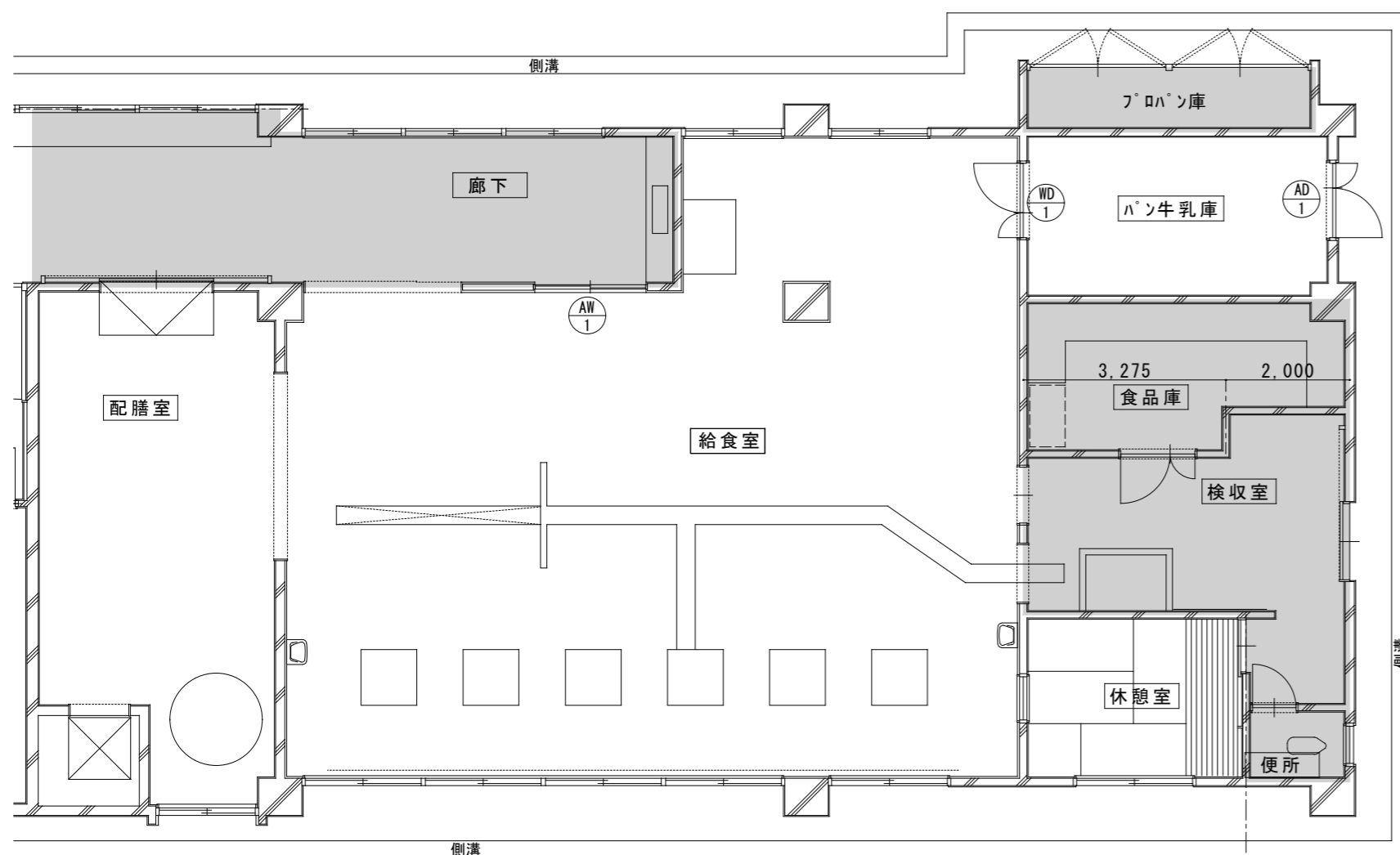
■凡例  
 工事範囲外 (現状のまま)  
 ⊠ 天井点検口

原図: A 2

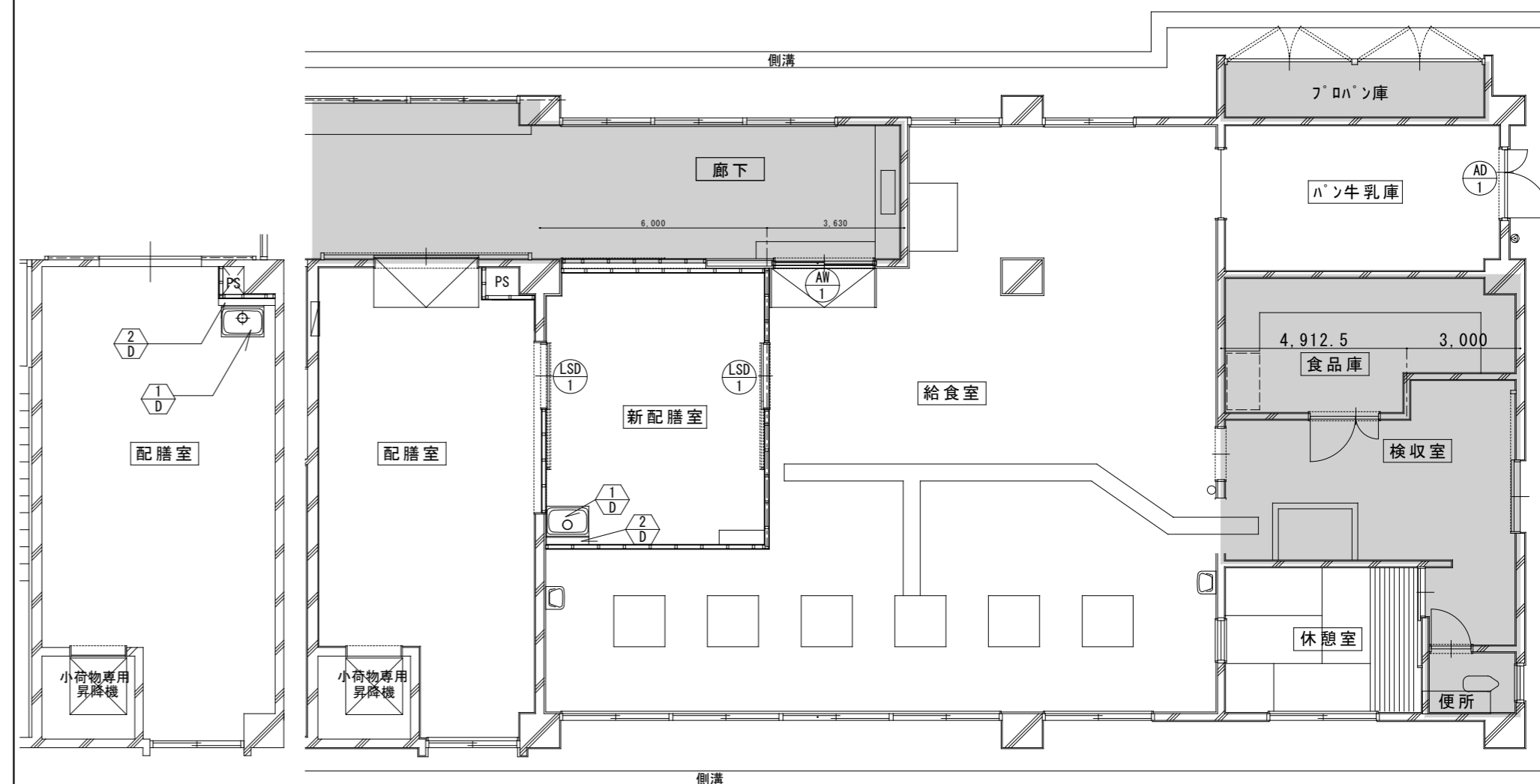


改修前

改修後



1階キブラン (改修前)



2、3階キブラン (改修後)

1階キブラン (改修後)

■ 建具表 (改修前)

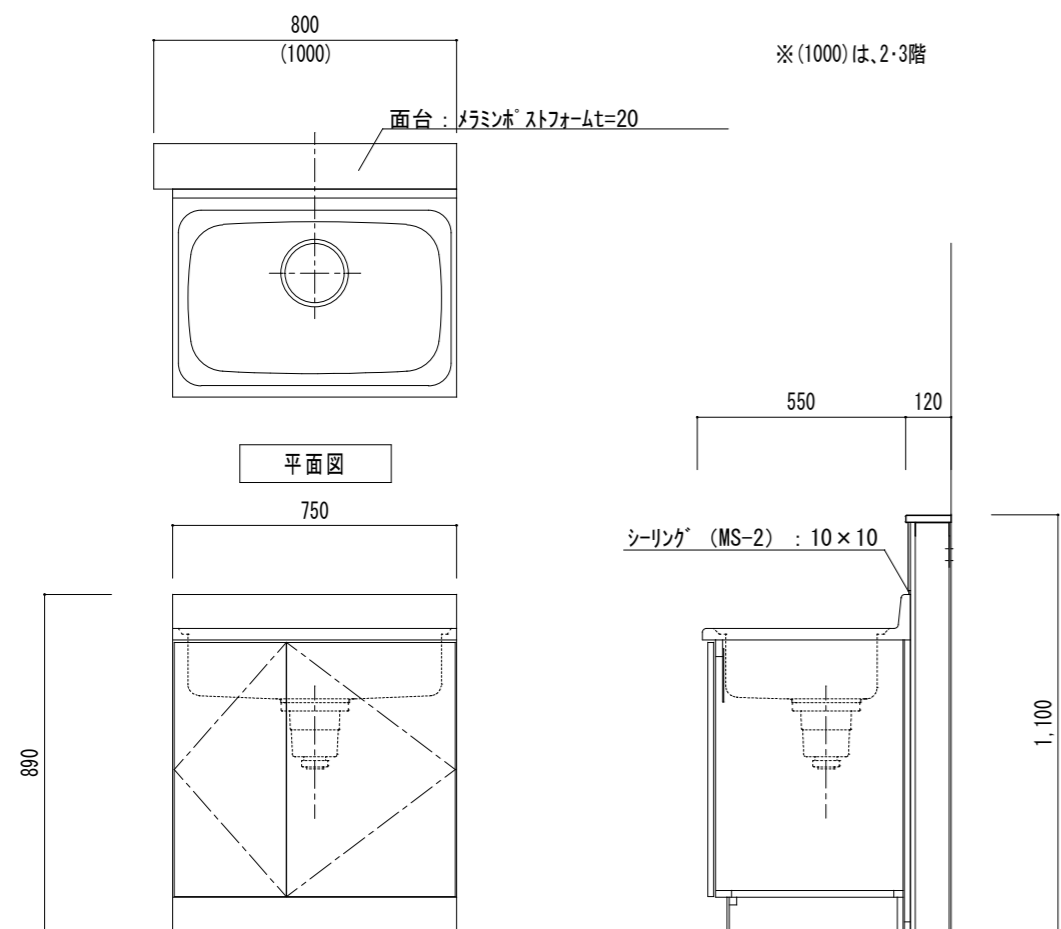
符号・数量	AW 1 撤去	1ヶ所	WD 1 撤去	1ヶ所	AD 1 撤去	1ヶ所
姿 図						
型 式・見 込	アルミ製引違い戸		木製親子フラッシュドア		アルミ製親子フラッシュドア	
材 質	アルミ		木		アルミ	
仕 上	アルマイト				電解着色	
ガ ラ ス	t=3 透明ガラス		t=3 透明ガラス		シングル-錠、丁番	
金 物						
備 考	網戸付					

■ 建具表 (改修後)

符号・数量	AW 1 新設	1ヶ所	LSD 1 新設	1ヶ所	AD 2ヶ所 新設	1ヶ所
姿 図						
型 式・見 込	引き違いアルミハンカードドア	ドア厚80	軽量スチールハンカードドア	ドア厚67	アルミ製親子フラッシュドア	ドア厚100
材 質	アルミ		化粧鋼板(0.6) 芯材(ﾊﾞｰﾊﾞｰｺﾌ)		アルミ	
仕 上	腰:アルミﾊﾞﾙ シルﾊﾞｰ		ｸﾞﾗｰ鋼板		ｼﾙﾊﾞｰ	
ガ ラ ス	t=4 強化ガラス		t=4 型板強化ガラス		—	
金 物	ｼﾝｸﾞﾙ-引違い錠 ハﾝｶｰ-ﾚｰﾙ金物一式(手動) ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾗｰ 引手		ｼﾝｸﾞﾙ-錠(ｷｰ/ﾀﾞｲﾈｰ)、ﾊﾝｶｰ-ﾚｰﾙ金物一式、ｽﾄｯﾌﾟ付 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾗｰ、引手棒(SUS製)、自閉(ﾚｰﾙ傾斜)式、明探ｽﾘｯﾄ		ﾊﾞｰ-ﾊﾝﾄﾞﾙ(ｼﾝｸﾞﾙ-/内ﾀﾞｲﾈｰ) ﾋﾞｯｸﾞ-ﾄﾞｲﾝｸﾞ ﾌﾗﾝｽ落し 金物一式	
備 考	アルミ製額縁25x55(3方x両面) SUS床段見切		ｽﾃｰﾙ三方枠25x110 戸当 SUS床見切(配膳室2-給食室)		アルミ額縁 SUS床摺	

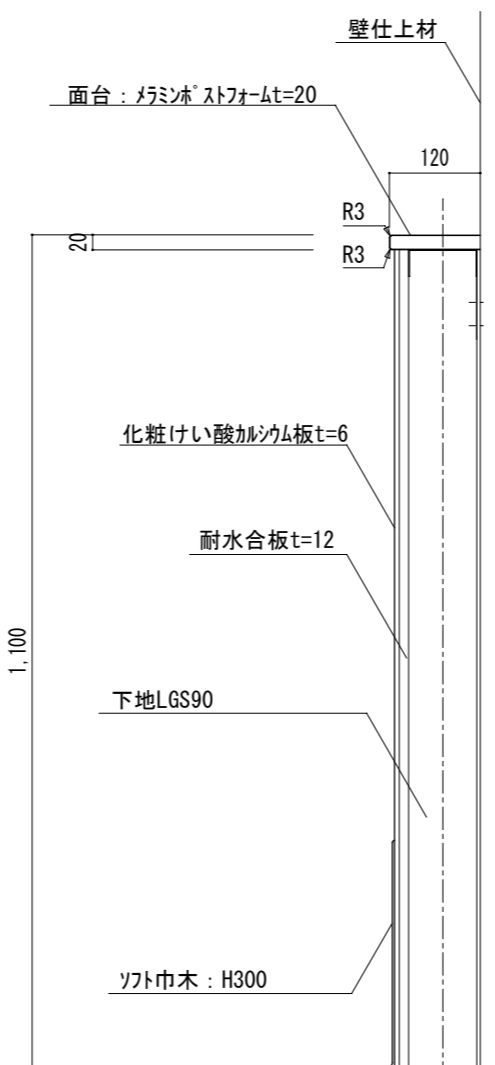
原図：A 2

参考品番	サカエ工業(株) GK-S-75同等品	水切りプレート付
※化粧板・ファッパ芯材・下地合板・接着剤は、F☆☆☆☆認定品とする		
※家具塗装は、F☆☆☆☆認定品とする		

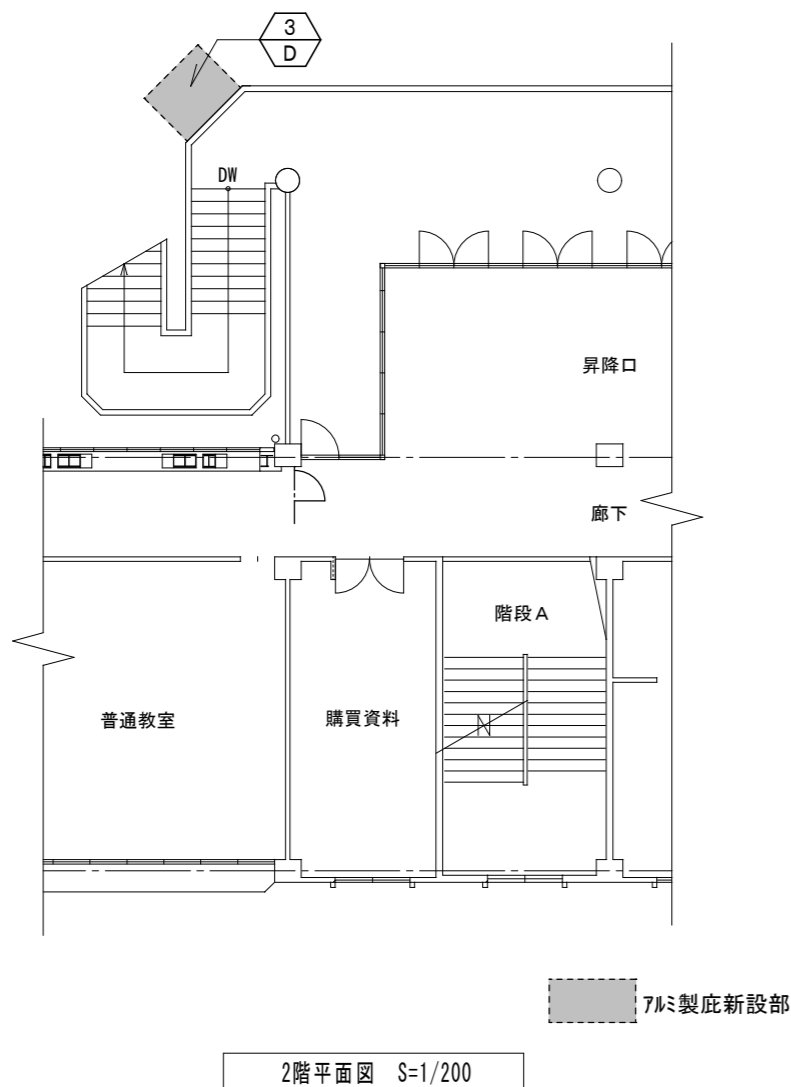
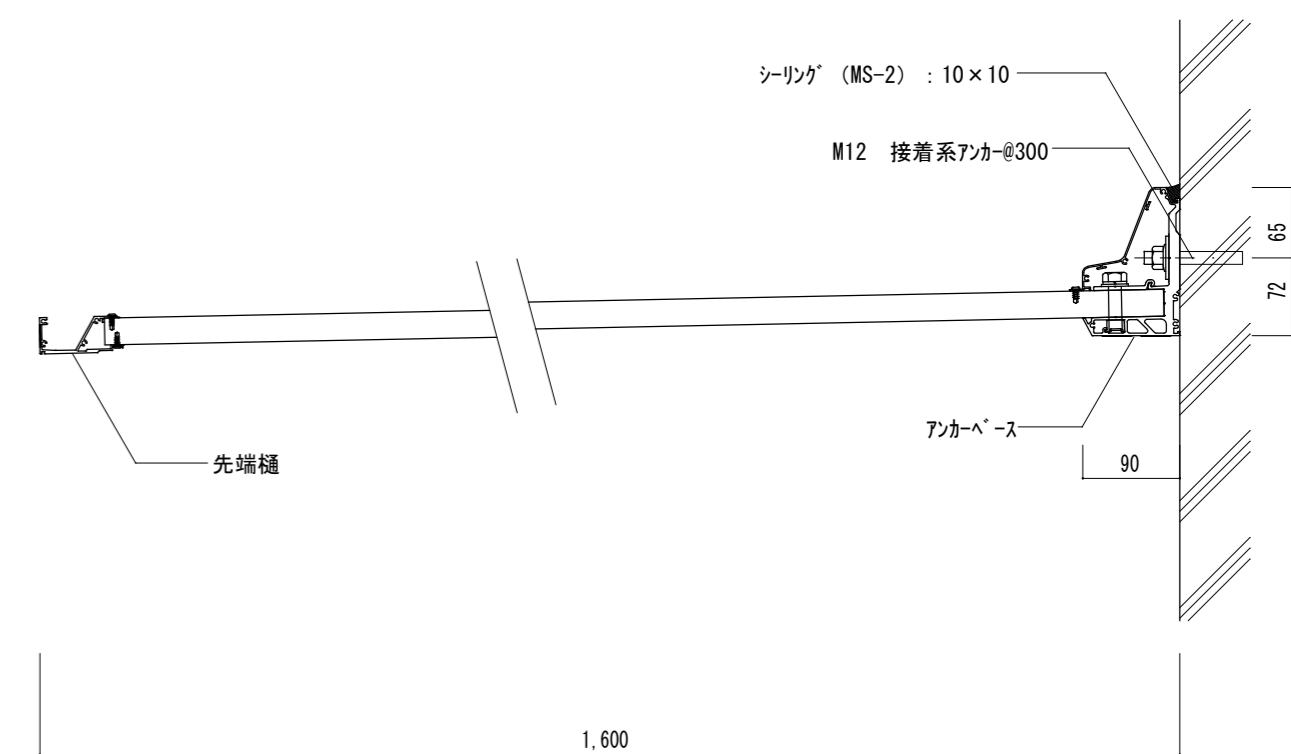


立面図

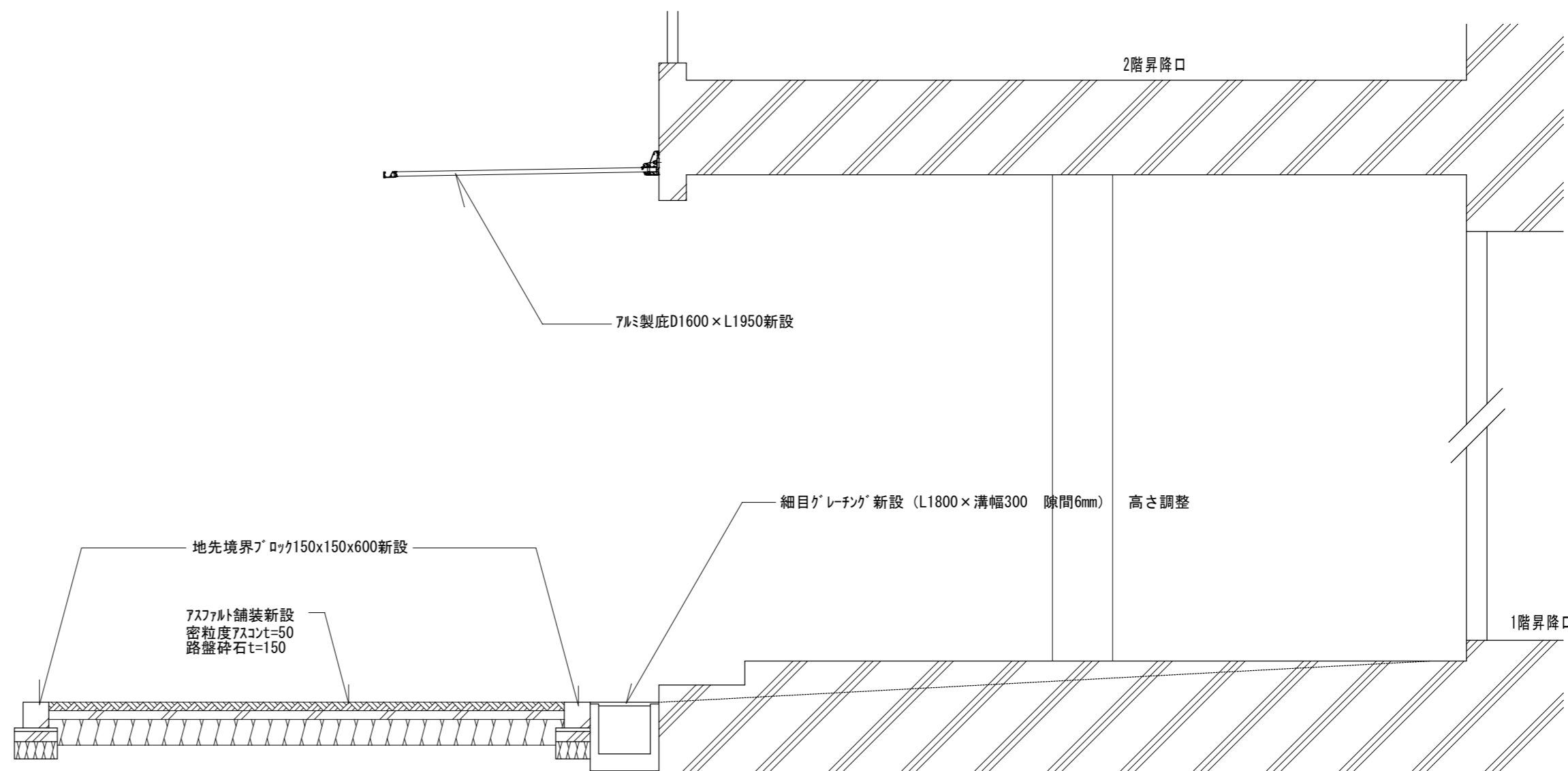
断面図



参考品番	(株)ABC商会 アジパ<インナーバ>「アジパ」 CAN1601LF D1600×L1950 同等品
------	----------------------------------------------------



2階平面図 S=1/200



断面図 S=1/30



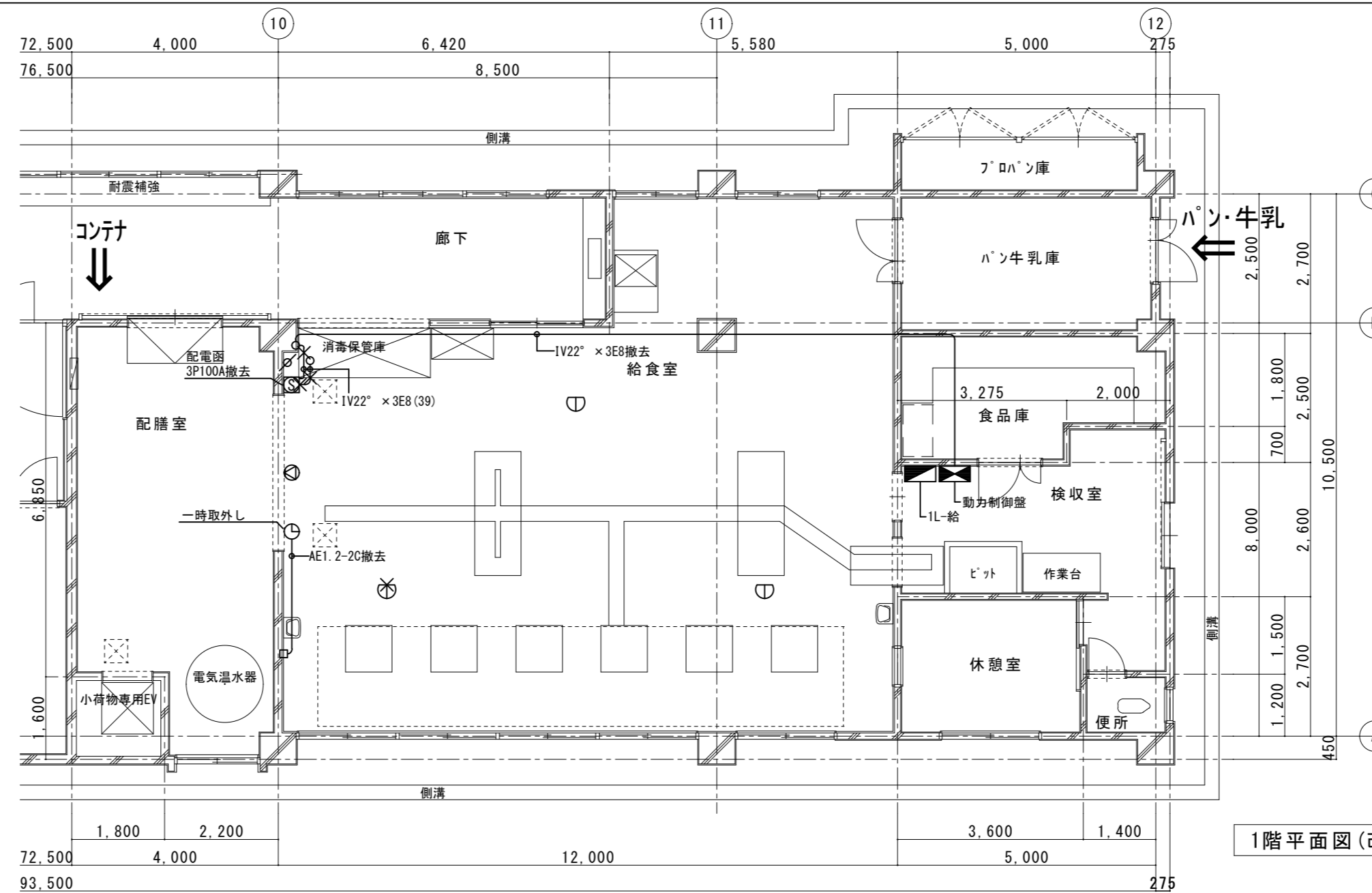


17. 映像・音響設備	(1)設備 (2)映像機器 (3)音響機器 (4)操作装置 (5)スピーカ
18. 拡声設備	(1)機器 (2)増幅器 (3)付属機器 (4)操作装置 (5)スピーカ
19. 誘導支援設備	(1)設備 (2)音声誘導装置 (3)インターホン
20. テレビ共同受信設備	(1)受信放送 (2)機器 (3)アンテナ
21. テレビ電波障害防除設備	(1)対象戸数 (2)機器 (3)アンテナ
22. 監視カメラ設備	(1)機器 (2)伝送方式 (3)カメラ (4)モニタ装置 (5)録画装置

23. 駐車管理制御設備	(1)機器 (2)管制盤 (3)検知器 (4)番号灯・警報灯 (5)発行機 (6)カーゲート
24. 防犯・入室管理設備	(1)設備 (2)防犯装置 (3)入室管理装置
25. 自動火災報知設備	(1)機器 (2)受信機 (3)副受信機 (4)中継器 (5)発信機 (6)感知器
26. 自動閉鎖設備	(1)機器 (2)運動制御器 (3)感知器
27. 非常警報設備	(1)設備 (2)非常放送装置
28. ガス漏れ火災警報設備	(1)機器 (2)受信機 (3)副受信機 (4)検知器

【中央監視制御設備】 29. 中央監視制御設備 (1)監視制御対象設備 (2)既設との取り合い (3)機器 (4)機能 (5)監視操作装置 (6)番号処理装置 (7)記録装置	【医療関係設備】 30. 非接地電源用分電盤 (1)機器 (2)仕様詳細 31. ナースコール設備 (1)形式 (2)仕様詳細 【構内配電線路】 32. 構内配電線路 (1)配線方式 (2)建柱 (3)装柱機器 (4)装柱機器 (5)ハンドホール・マンホール (6)鉄筋蓋 (7)地中ケーブル保護材料 【構内通信線路】 33. 構内通信線路 (1)用途 (2)配線方式 (3)建柱 (4)ハンドホール・マンホール (5)鉄筋蓋 (6)地中ケーブル保護材料 【その他】 34. 消火器
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

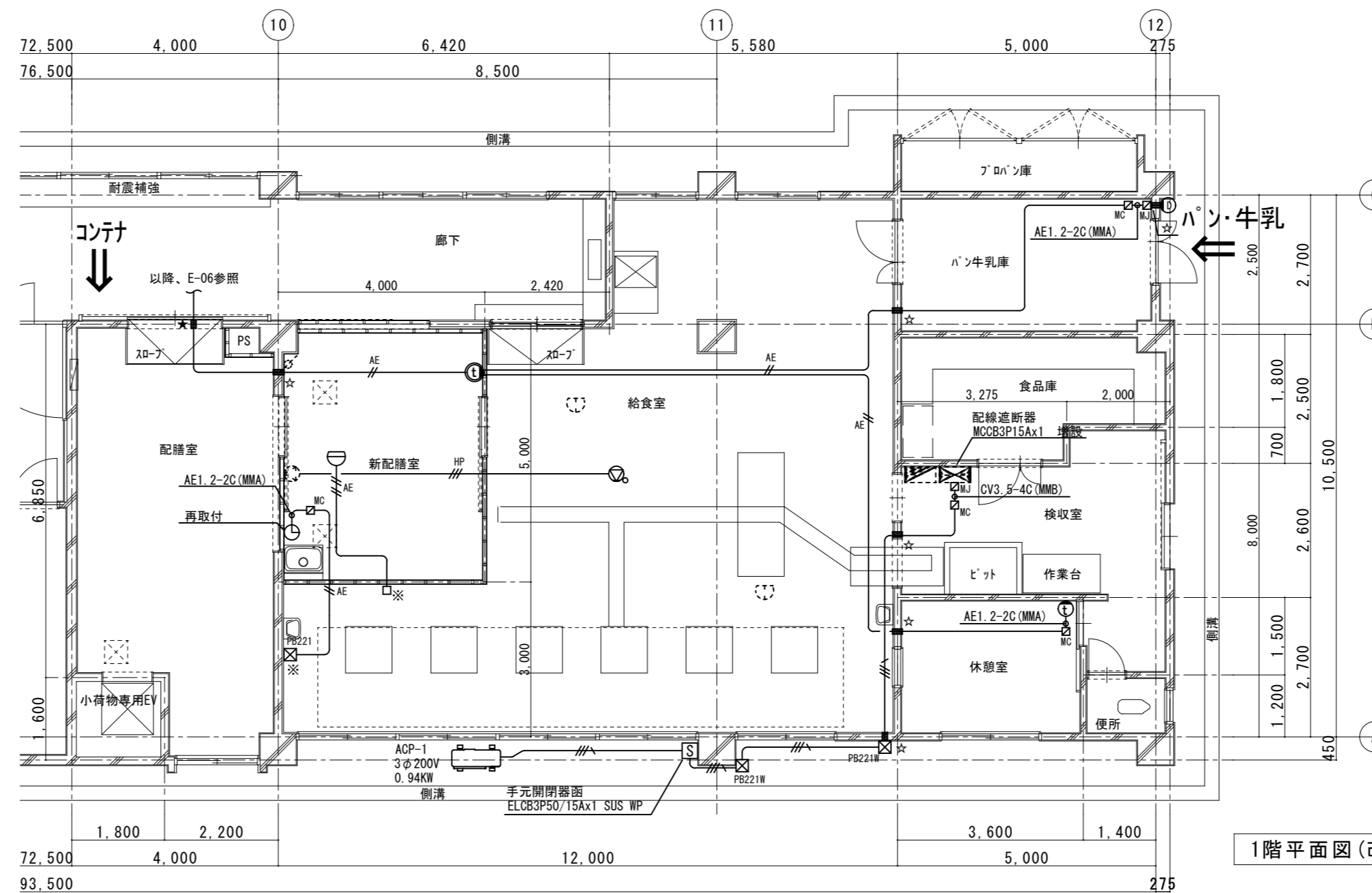
III. 機器標準取付高さ 標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(○印はバリアフリー対応)				
電力	名称	側点	取付高さ (mm)	備考
電力	接地端子盤	床下～下端		
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
	引込閉閉器	床下～中心	1,800～2,000	
	分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm
	スイッチ	床下～中心	1,300	○1,000mm
	コンセント(一般)	床下～中心	300	○400mm
	コンセント(和室)	床下～中心	200	
コンセント(台上)	床下～中心	150		
コンセント(WP)	床下～中心	1,000		
コンセント(地下)	床下～中心	1,000		
コンセント(土間)	床下～中心	500		
ブラケット(一般)	床下～中心	2,100～2,300		
ブラケット(鏡上)	鏡上端～	150		
ブラケット(処理場)	床下～中心	2,500		
動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm
	手元開閉器	床下～中心	1,500	
	操作スイッチ	床下～中心	1,300	
電話	端子盤	床下～下端	300	
	保安器盤	床下～中心	2,000	
	壁位置ボックス	床下～中心	300	
	壁位置ボックス(和室)	床下～中心	200	
時計・拡声	壁掛型観時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm
	子時計	床下～中心	2,300	
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm
	アッテネータ	床下～中心	1,300	
表示	表示器	床下～中心	2,300	
	壁付発信器	床下～中心	1,300	
	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300	
インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300	
	壁位置ボックス	床下～中心	300	
	壁位置ボックス(和室)	床下～中心	200	
	子機(身障者用)	床下～中心	1,100	
	呼びボタン(身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方へ100～200mm 2個目(高700mm、便座先端から前方400mm)
	表示灯(身障者用)	床下～中心	1,800	
テレビ	機器収容箱	床下～中心	2,000	
	直列ユニット	床下～中心	300	
	直列ユニット(和室)	床下～中心	200	
火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500	
	発信器	床下～中心	1,300	
	表示灯	床下～中心	1,800	
	ベル	床下～中心	2,300	
参考資料:高齢者が居住する住宅の設計に係る指針(最終改正平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等(平成25年4月三重県)				



注記

1. 図中記入なきは下記とする。
- × 機器撤去を示す
- ×— 配管、配線撤去を示す

1階平面図(改修前) S=1/100



注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。

保護管	
AE	AE1.2-2C (PF16)
AE	AE1.2-4C (PF16)
VVF	VVF1.6-2C (PF16)
CV3	CV3.5-4C (HI22)
HP	HP1.2-3C (PF16)

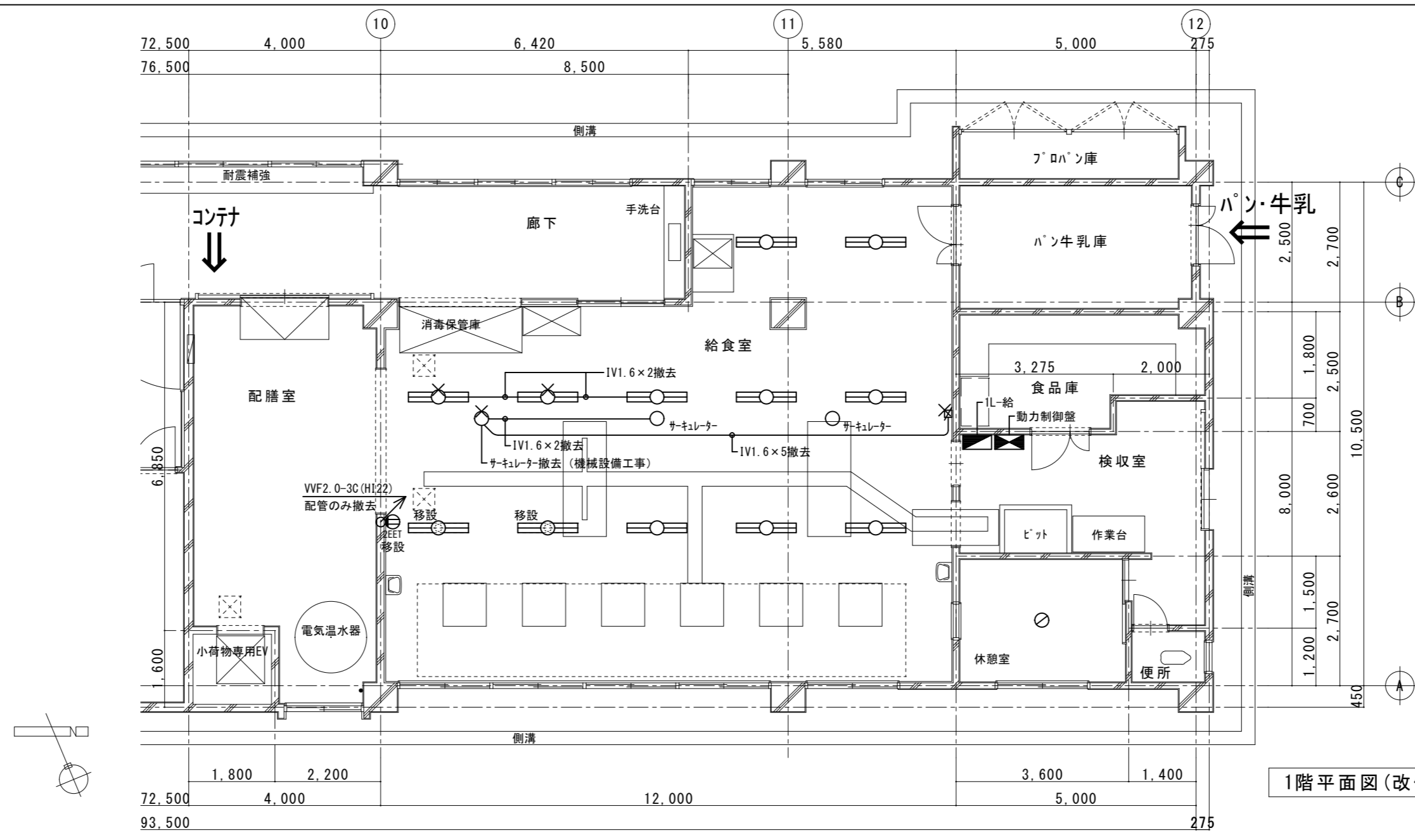
(MMA)~メタルモールA型  
 MC メタルモールコーナーボックス  
 MJ メタルモールジャンクションボックス  
 PB221 ~プルボックス 200x200x100  
 PB221W~プルボックス 200x200x100 SUS WP

二重天井内はケーブルをコンクリート部に沿って配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はPF管にて保護とする。  
 ☆印は、壁貫通箇所を示す。  
 ★印は、防火区画貫通処理箇所を示す。  
 ※印は、既設配線接続箇所を示す。

1階平面図(改修後) S=1/100

弱電機器姿図

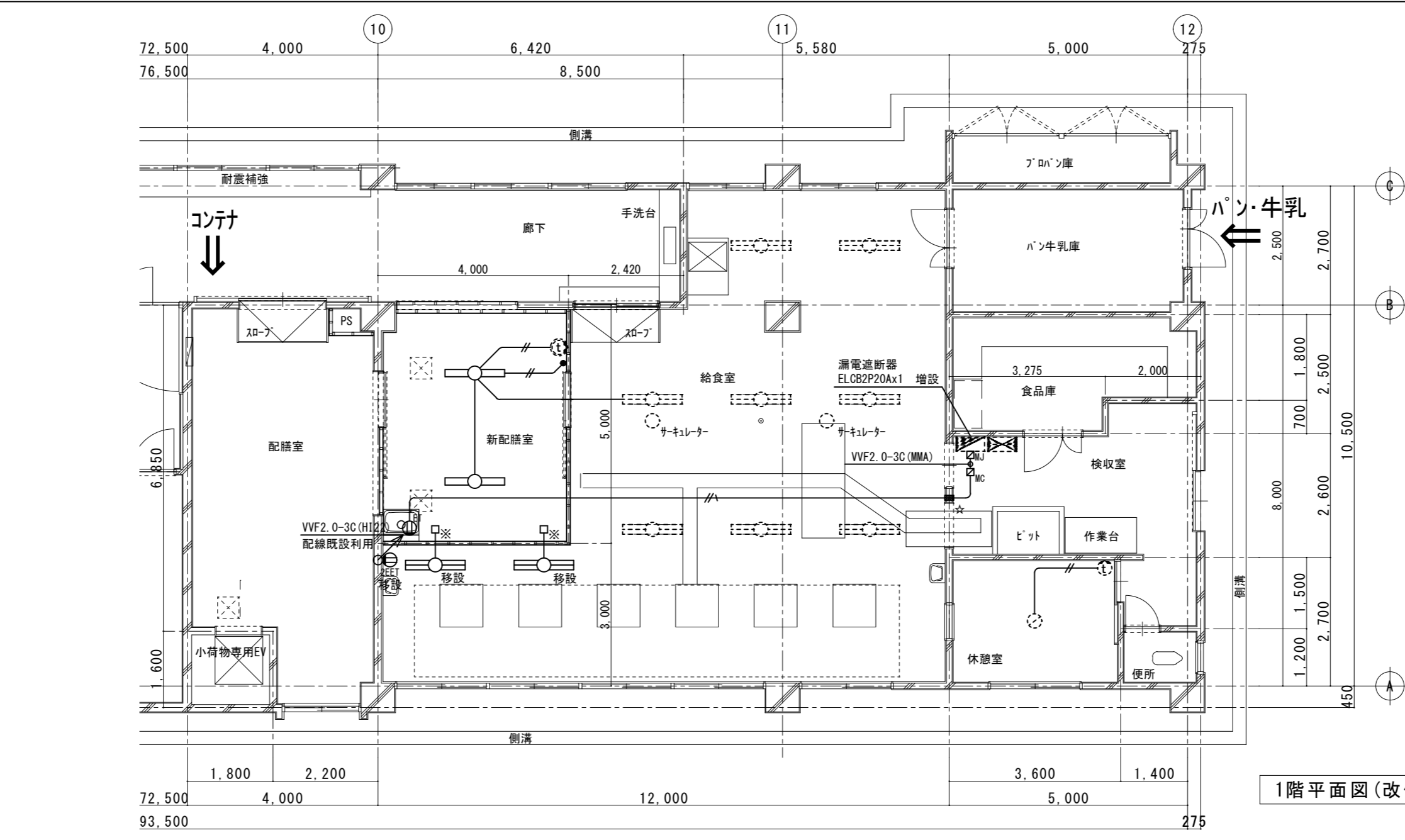
① モニタ付き親機	② モニタ付き副親機
電源電圧 AC100V 50/60Hz 形状 壁取付型 (JIS2専用ｽｲｯﾁ付ｽﾀﾝﾀﾞｰﾚｰﾝ) 材質 自己消火性樹脂 通話方式 電話型同時通話(内線応答時、拡声同時通話) モニター 4型TFTカラー液晶モニター	電源電圧 AC100V 50/60Hz 形状 壁取付型 (JIS2専用ｽｲｯﾁ付ｽﾀﾝﾀﾞｰﾚｰﾝ) 材質 自己消火性樹脂 通話方式 電話型同時通話(内線応答時、拡声同時通話) モニター 4型TFTカラー液晶モニター
参考型番: KB-3MRD-T	参考型番: KB-3HRD-T
③ かけ付玄関子機	
電源電圧 DC22V (モニター付親機から供給) 形状 壁取付型 (JIS1専用ｽｲｯﾁ付) 材質 自己消火性樹脂 通話方式 拡声同時通話 カメラ 1/4型カラーCCD	
参考型番: KB-DAR	



注記

1. 図中記入なきは下記とする。
  - × 機器撤去を示す
  - ×— 配管、配線撤去を示す

1階平面図(改修前) S=1/100



照明器具姿図

A 3 2	LEDベースライト
-------	-----------

公共型番 : LSS9-6800LM

新設配膳室

A 3 2	2
-------	---

注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。
 

—//—	VVF2.0-3C (1E)	(PF22)	保護管
—//—	VVF1.6-3C (1E)	(PF22)	
—//—	VVF1.6-2C	(PF16)	

(MMA) ~ マタルモールA型

- MC: マタルモールコーナーボックス
- MJ: マタルモールジャンクションボックス

PB21 ~ プルボックス 200 x 200 x 100

PB21W ~ プルボックス 200 x 200 x 100 SUS WP

二重天井内はケーブルこしが配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はPF管にて保護とする。

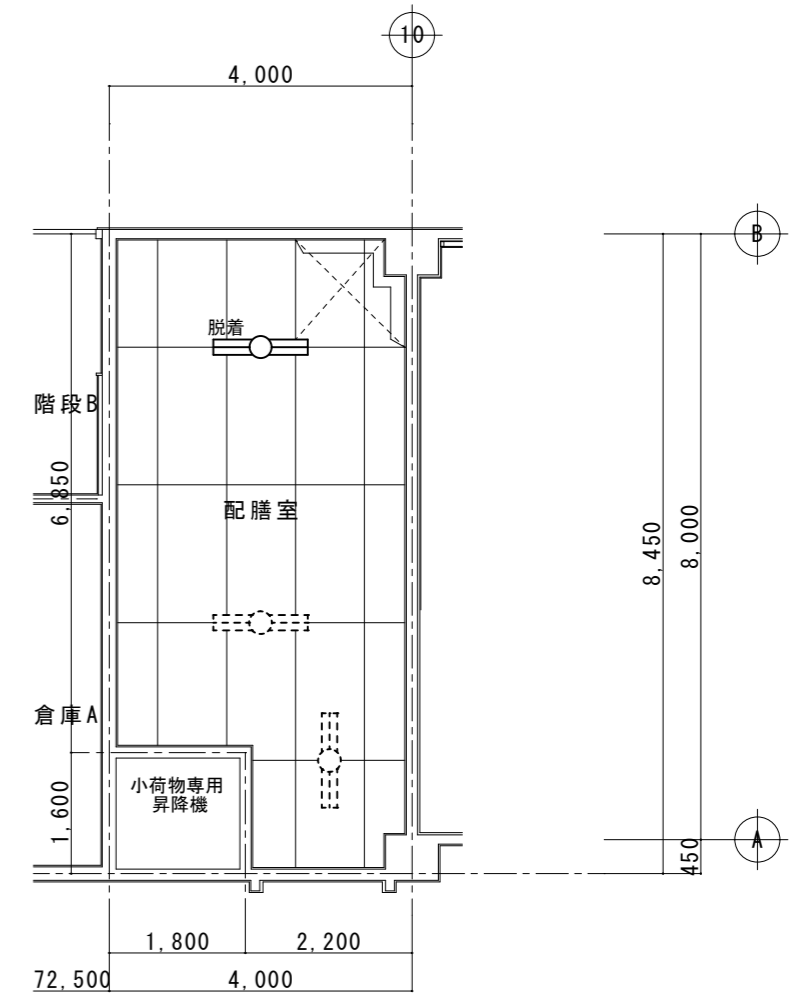
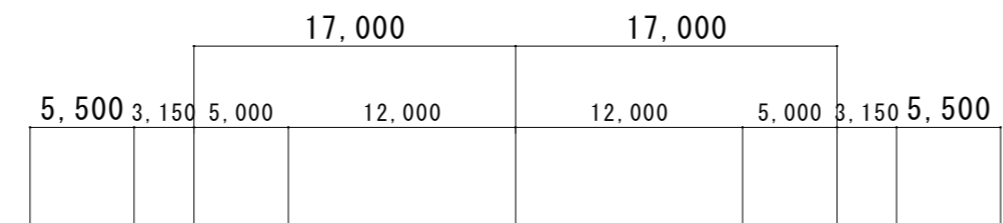
☆印は、壁貫通箇所を示す。

★印は、防火区画貫通処理箇所を示す。

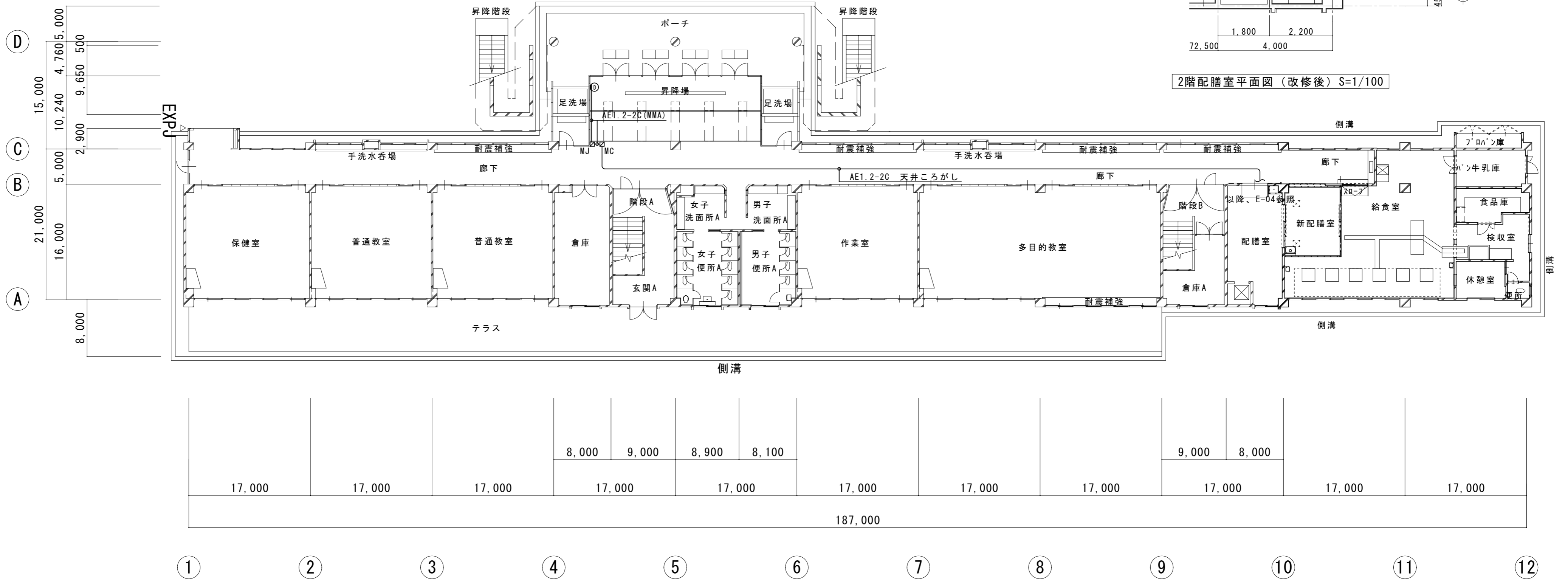
※印は、既設配線接続箇所を示す。

1階平面図(改修後) S=1/100

原図 : A 2



2階配膳室平面図(改修後) S=1/100



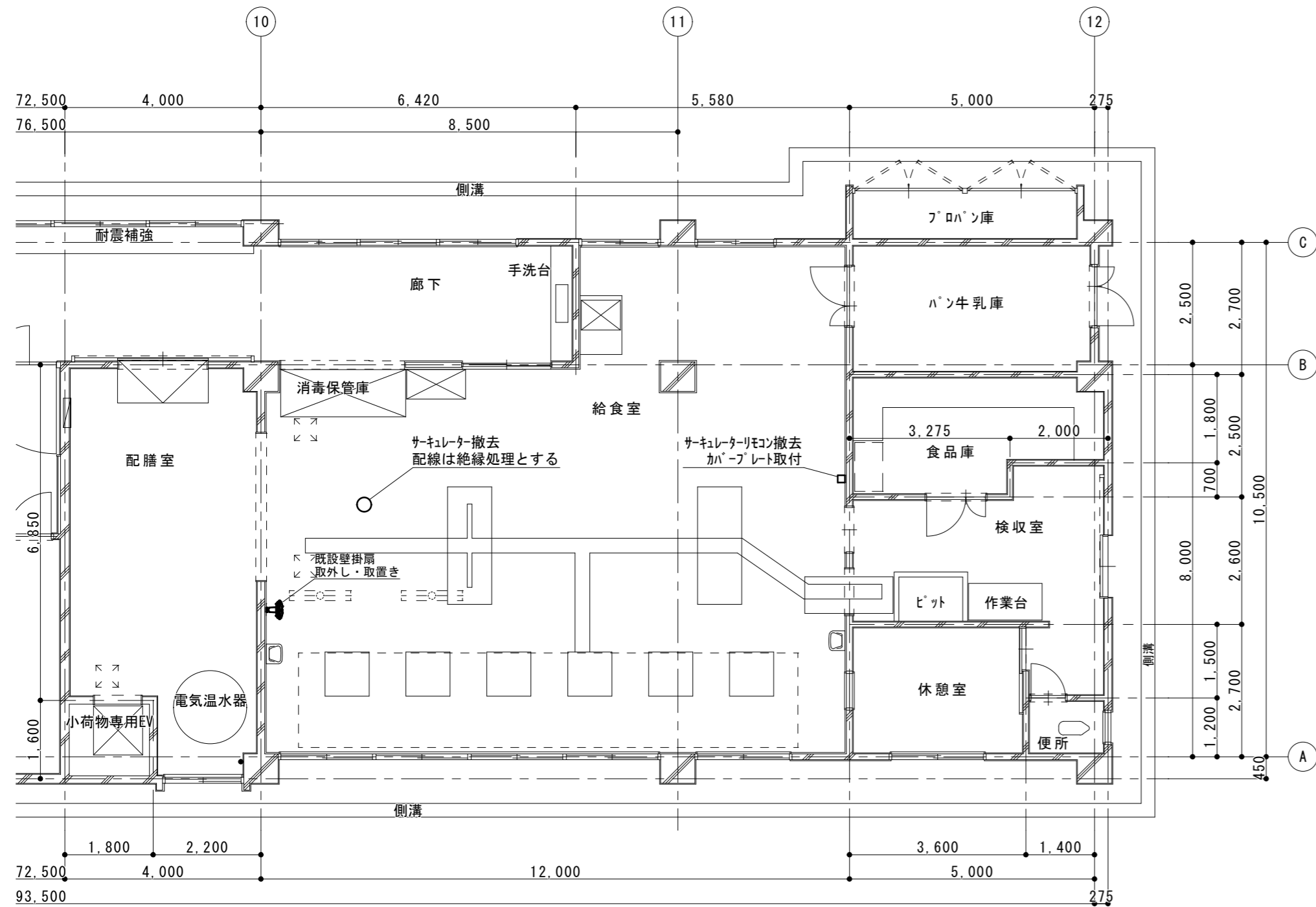
1階平面図(改修後) S=1/400

原図: A 2

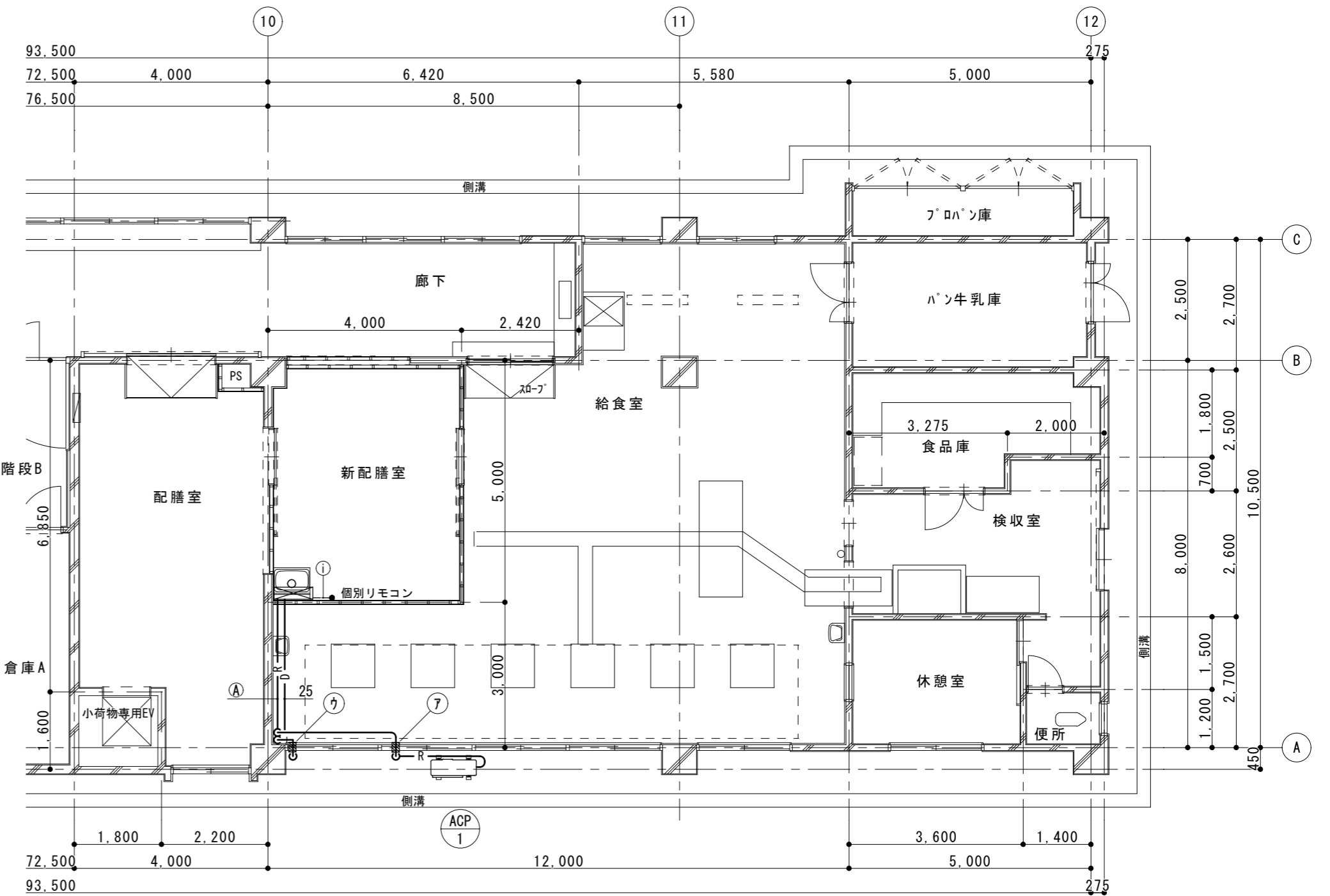








1階平面図(改修前) S=1/100



1階平面図(改修後) S=1/100

空調機器表(新設)					
記号	形式・名称	仕様		台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力: 3.6(1.7~4.0)Kw	暖房能力: 4.0(1.8~5.3)Kw	1	防振ゴム ワイヤードリモコン
	壁掛型	3相200v	冷房定格消費電力: 0.895kW 暖房定格消費電力: 0.940kW		
					既製コンクリート基礎

特記事項: 運転特性、能力はJIS条件による。電気容量値は参考とする。空調機は省エネタイプを仕様とすること。  
 空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。  
 リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。  
 アンカーはケミカルアンカー仕様。機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシートを敷くこと。パッケージエアコン室外機には防護ネットを施すこと。  
 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。

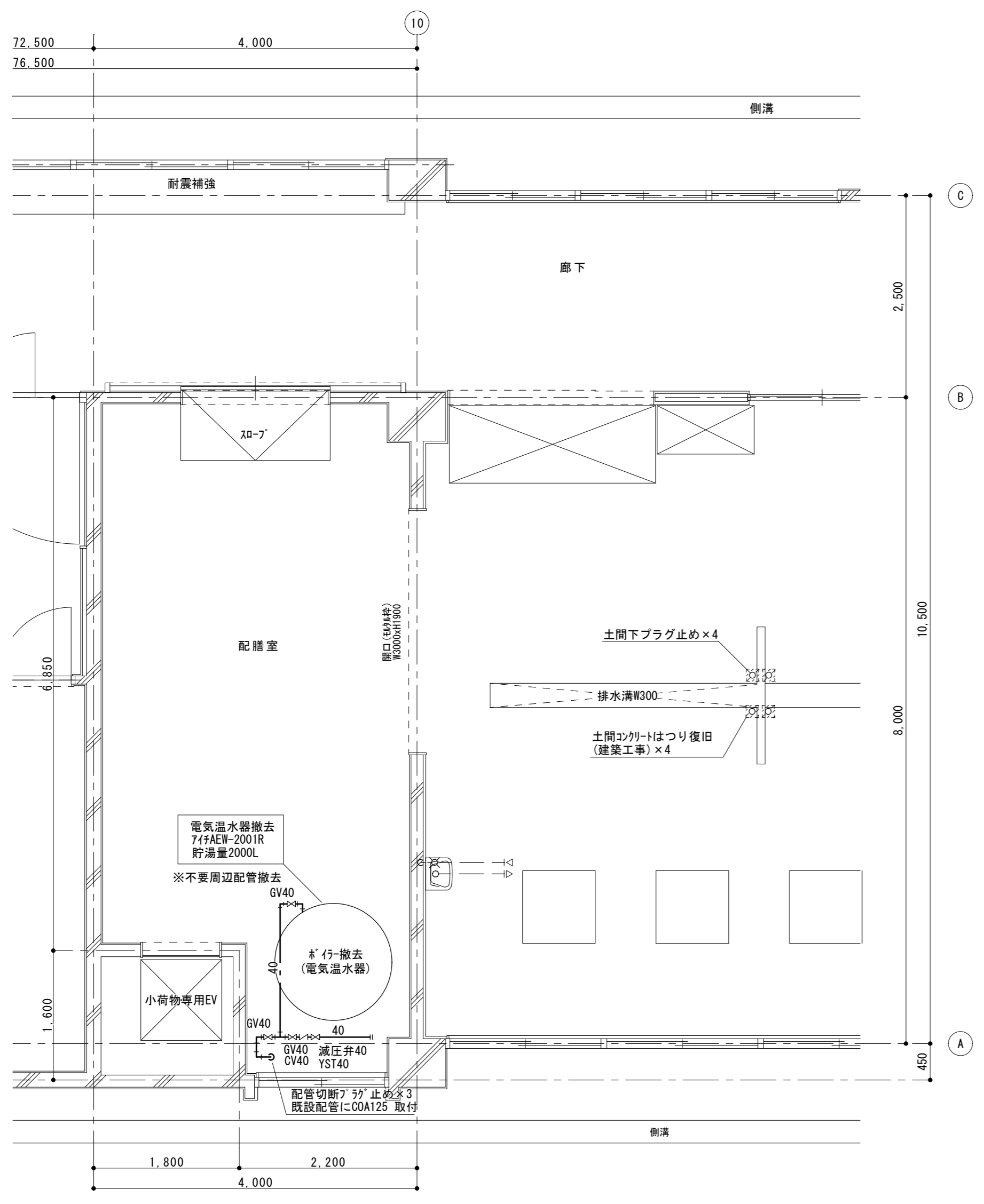
記号	冷媒配管サイズ		室内外連絡線
	液管	ガス管	
Ⓐ	φ 6.4	φ 12.7	VVF2.0-3C

①	リモコン線	CVVS1.25-2C
---	-------	-------------

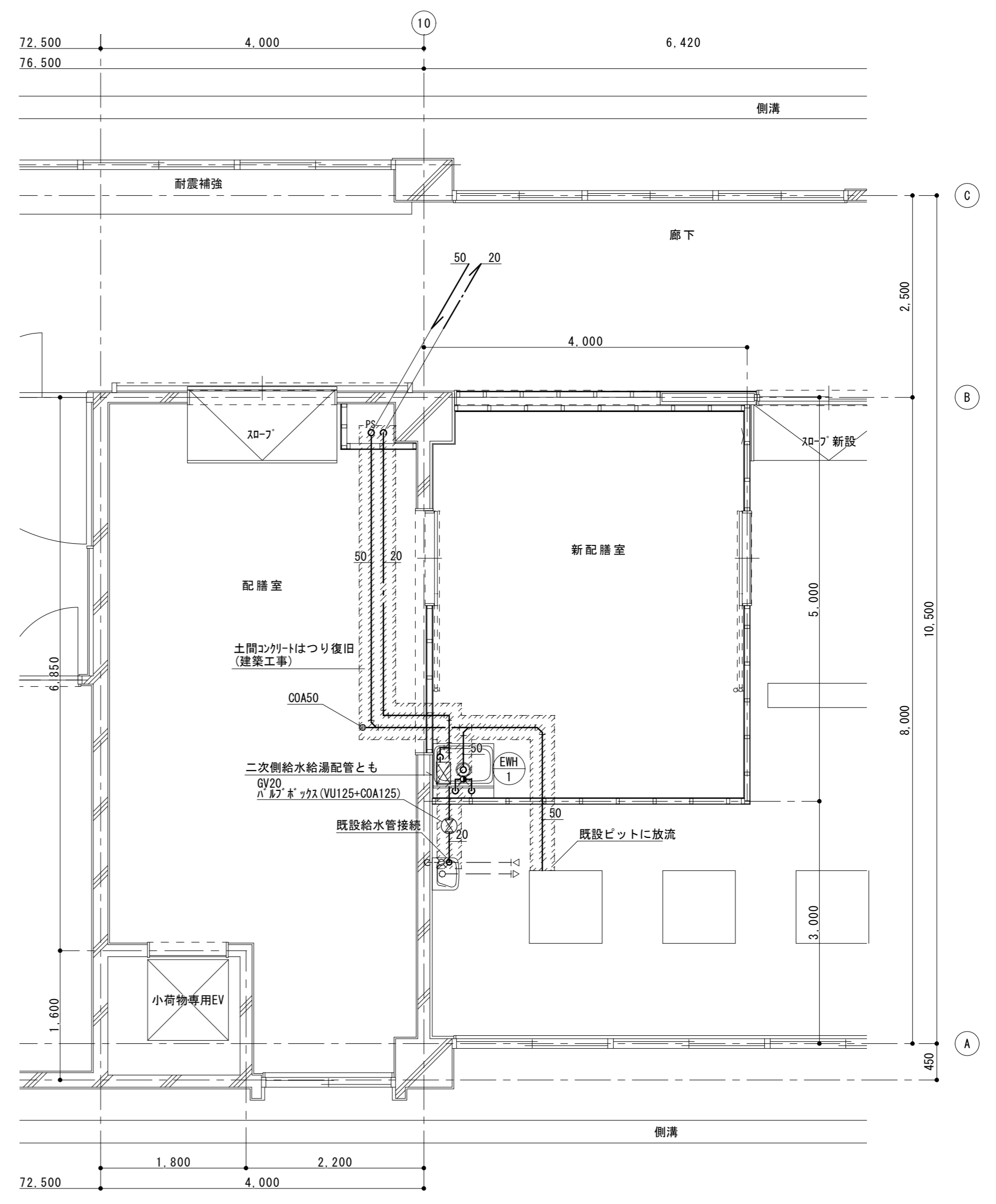
図中記号凡例			
■	⑦	RC壁コア抜き補修	φ 100
■	④	RC壁コア抜き補修	φ 75
■	⑤	RC壁コア抜き補修	φ 50
●	②	RC床コア抜き補修	φ 75

凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	防露塗装仕様
— R —	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋内露出: 配管化粧カバー 屋外露出: ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
— D —	ドレン管	保温付VP ※屋外はφ-VPとする	

原図: A 2



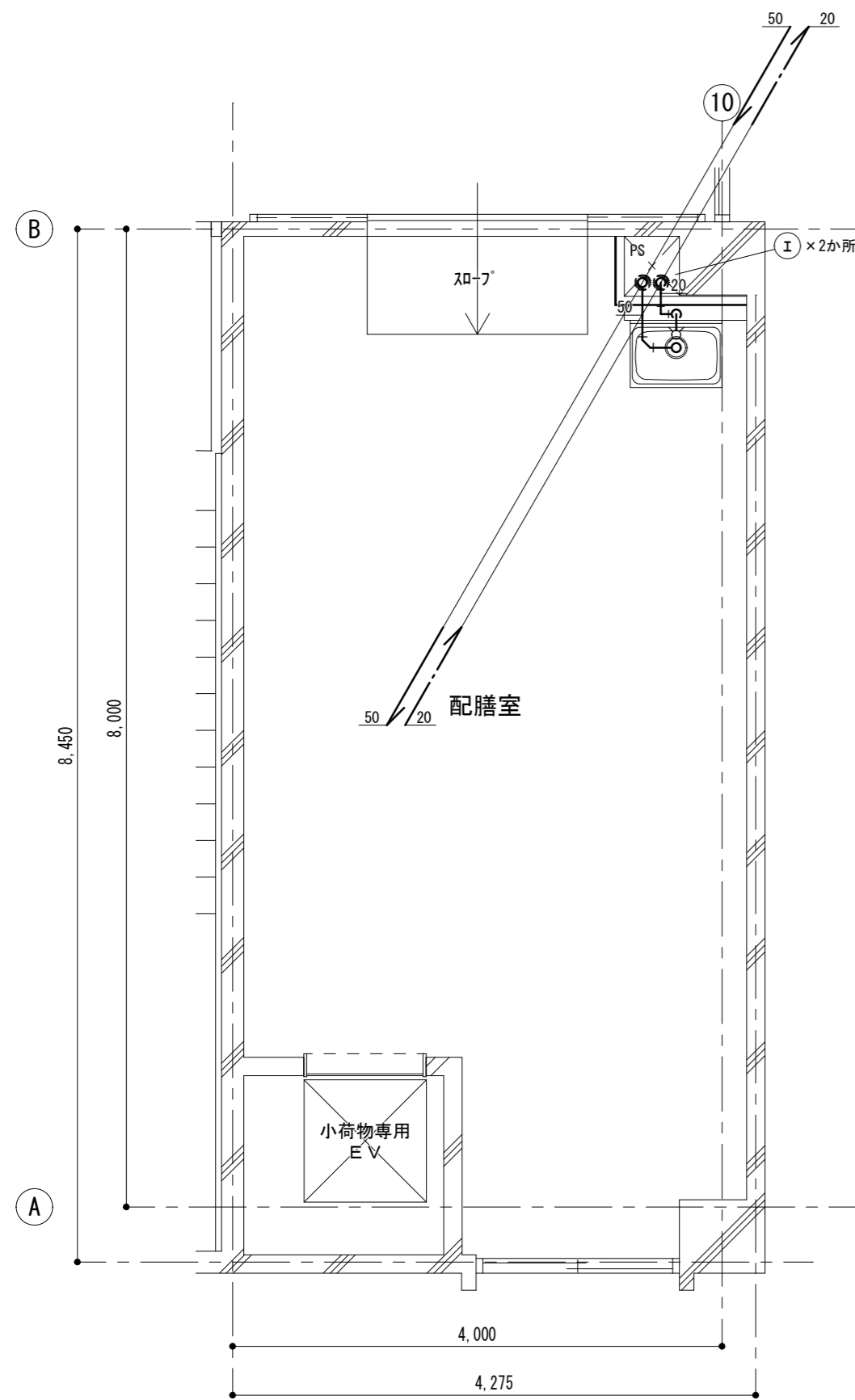
1階配膳室平面詳細図 (改修前) S=1/50



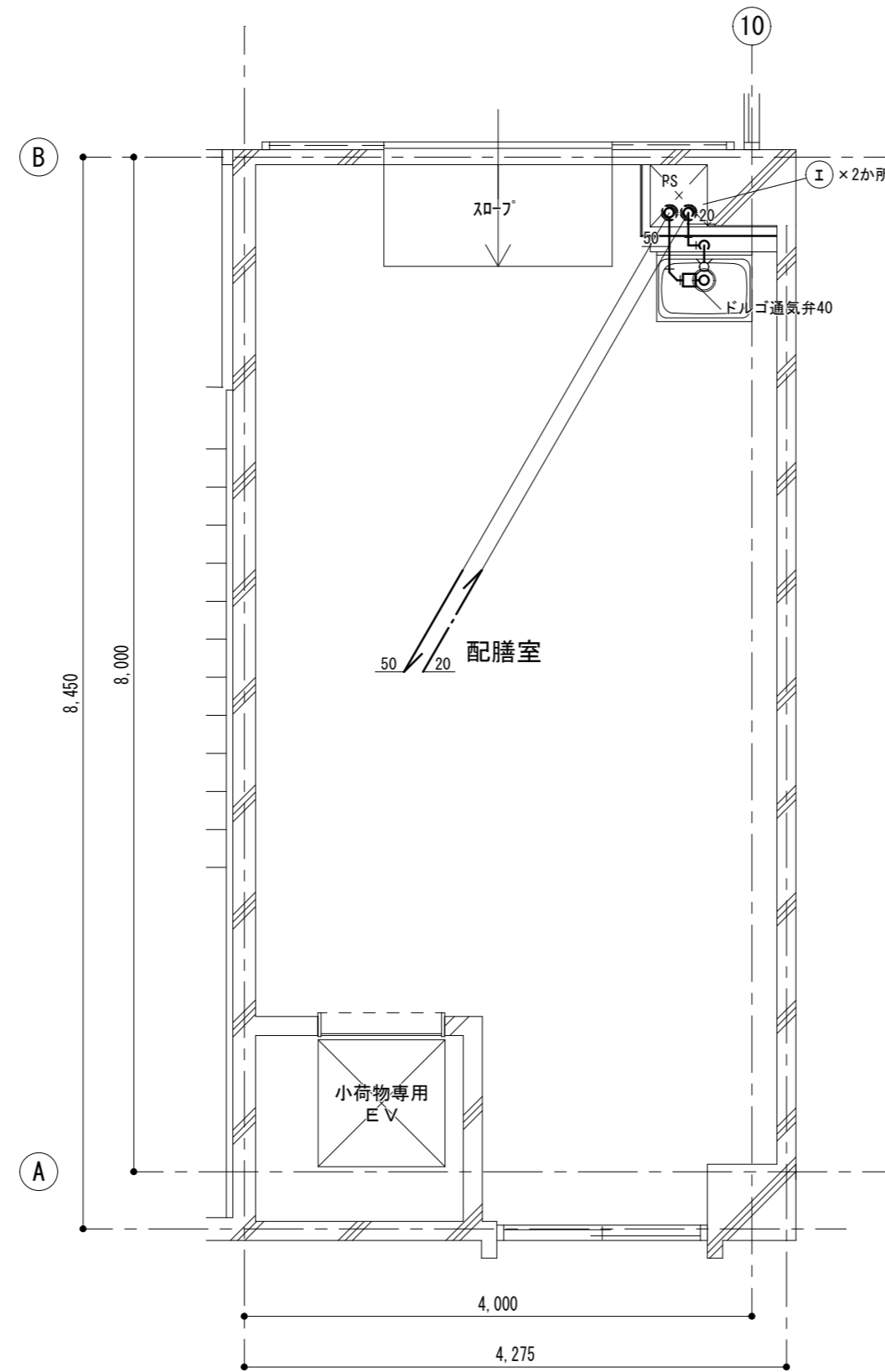
1階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50

原図: A 2

図中記号凡例			
■	⑦	RC壁コア抜き補修	φ100
■	①	RC壁コア抜き補修	φ75
■	②	RC壁コア抜き補修	φ50
●	③	RC床コア抜き補修	φ75



2階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50



3階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50

衛生器具表					
名称	仕様	設置場所			合計
		1階新配膳室	2階配膳室	3階配膳室	
混合水栓	TKGG30E 壁付シンク用レバー	1			1
自在水栓	T130ARQ13C レバーハンドル(170mm)		1	1	2
流し台 (建築工事)	SUS製 750W 排水トラップ 共	(1)	(1)	(1)	(3)

機器表				
記号	名称	機器仕様	台数	備考・参考型番
EWH-1	電気温水器	貯湯量 12L	1	REKB12A12
	(飲料・洗い物用タイプ)	電源 AC100V 消費電力 1.1kW		
		その他 クイックタイマー 自動給排水 開放式排水ホッパー		
		アングル止水栓		

原図：A.2